

まちのにぎわいと輝きを生み出す、
おでかけ環境の「再生」

八幡浜市地域公共交通計画 (資料編)



令和5年3月

愛媛県 八幡浜市

目次

第1章	市民アンケート.....	1
1-1	調査概要	1
1-2	調査結果	2
1-3	調査票	27
第2章	地域意見交換会.....	43
2-1	実施概要	43
2-2	実施結果	43
第3章	地域おこし協力隊ヒアリング.....	47
3-1	実施概要	47
3-1	実施結果	47
第4章	高校事務局アンケート調査.....	48
4-1	調査概要	48
4-2	調査結果	48
4-3	調査票	52
第5章	関係者ヒアリング.....	58
5-1	実施概要	58
5-2	実施結果（交通事業者）.....	58
5-3	実施結果（行政）.....	60

第1章 市民アンケート

1-1 調査概要

表1 市民アンケート調査実施概要

調査目的	八幡浜市民の通勤、通学、買い物、通院等の日常生活における移動実態やニーズ、公共交通の利用状況や改善意向等を把握する。
調査対象	八幡浜市内に居住する15歳以上の市民3,000人（無作為抽出）
調査期間	令和4年8月31日（発送）～令和4年9月14日（投函期限）
調査方法	配布：郵送配布 回収：郵送回収とWEB回答を併用
配布回収状況	回収数1,059人、回収率35.3%

※集計は、地勢や人口分布を踏まえ、八幡浜市街地周辺地域、八幡浜山間地域、八幡浜海岸地域、日土地域、保内地域に分けて実施



図1 集計にあたっての地域分類

1-2 調査結果

1-2-1 回答者について

- 70歳以上が50%を超えています。
- 50%以上が通勤、通学をしていません。
- 63%が運転免許証を「当分返納するつもりはない」と回答しています。

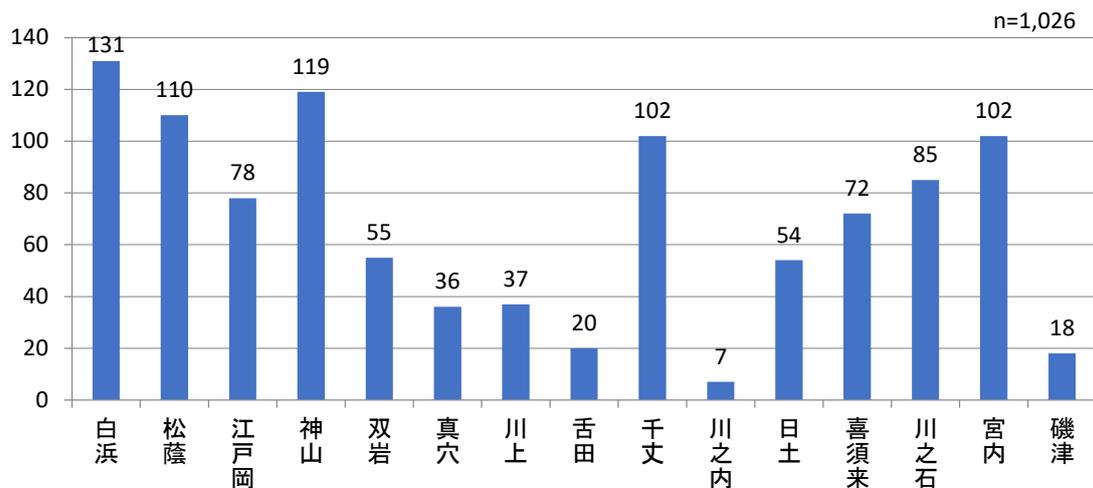


図2 居住地

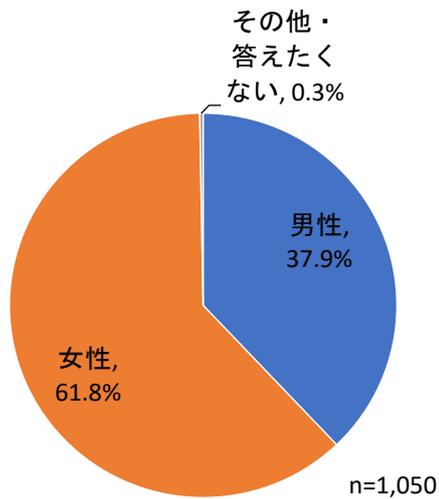


図3 性別

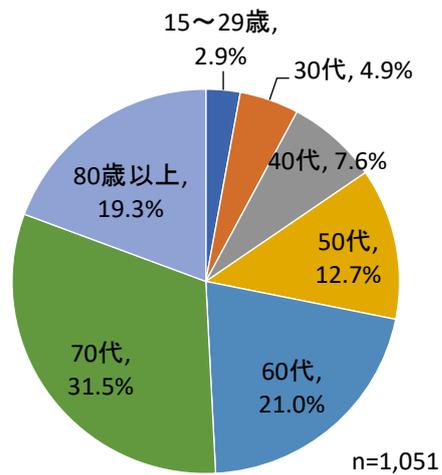


図4 年齢層

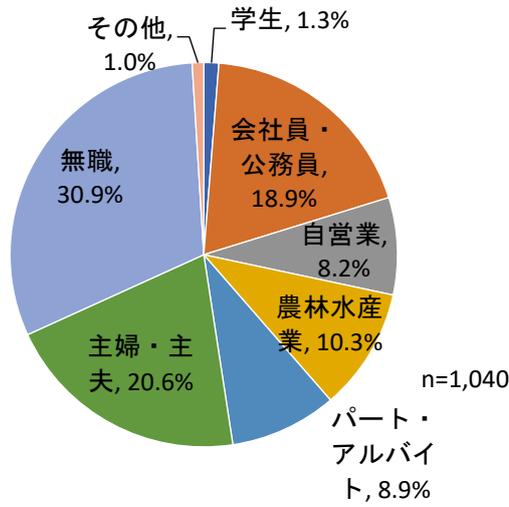


図5 職業

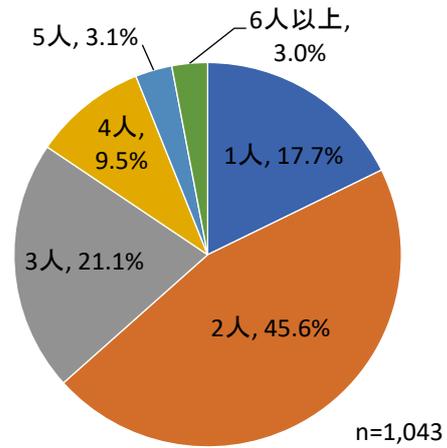


図6 世帯人数

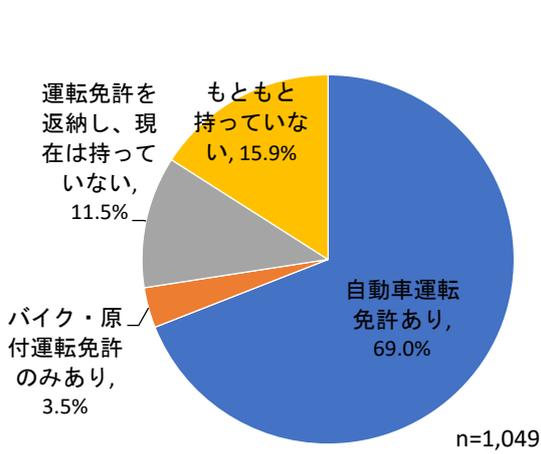


図7 運転免許保有状況

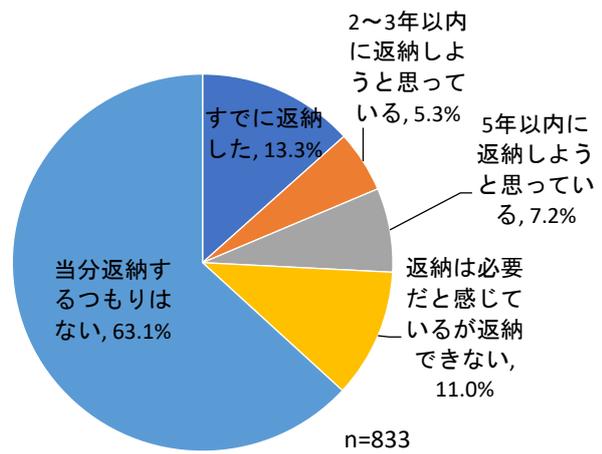


図8 免許返納意向

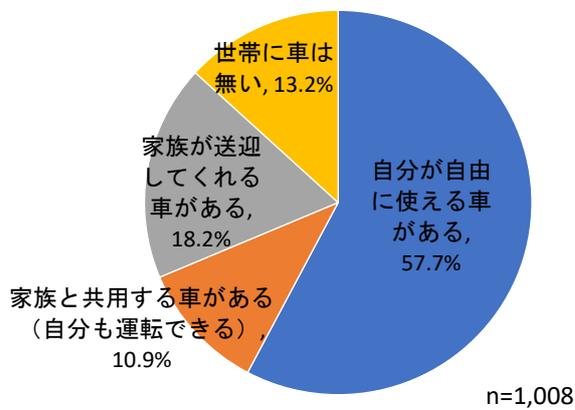


図9 自家用車保有状況

1-2-2 公共交通の利用頻度について

- 路線バス、船・フェリーの利用割合が最も高い地域は八幡浜海岸地域です。
- タクシー、JR 予讃線の利用割合が最も高い地域は八幡浜市街地周辺地域です。
- 路線バス、船・フェリー、タクシー、JR 予讃線を「全く利用しない」割合が最も高い地域は日土地域です。
- 乗合タクシーを「全く利用しない」割合は全ての地域で 85%を超えています。

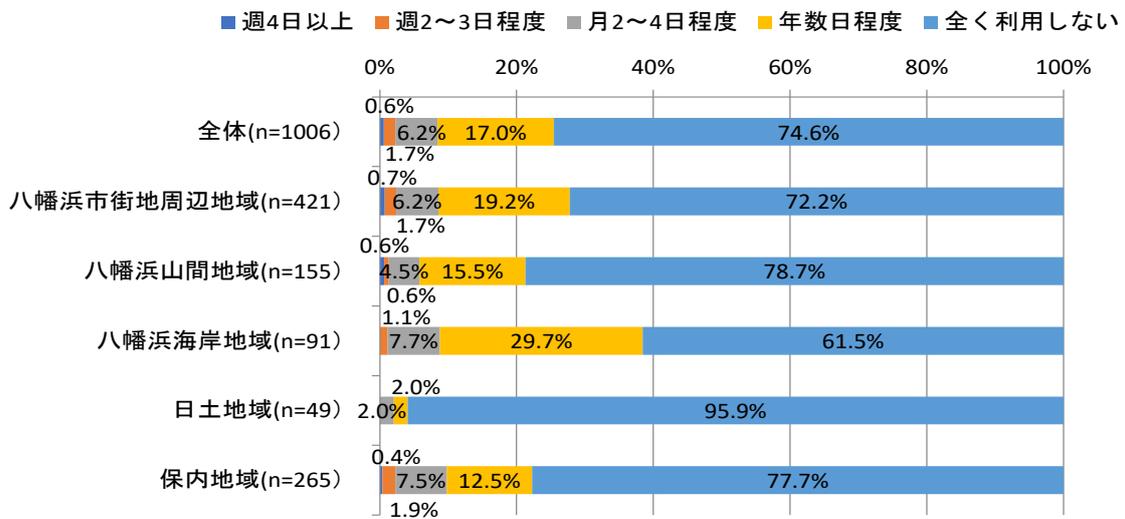


図 10 路線バスの利用頻度

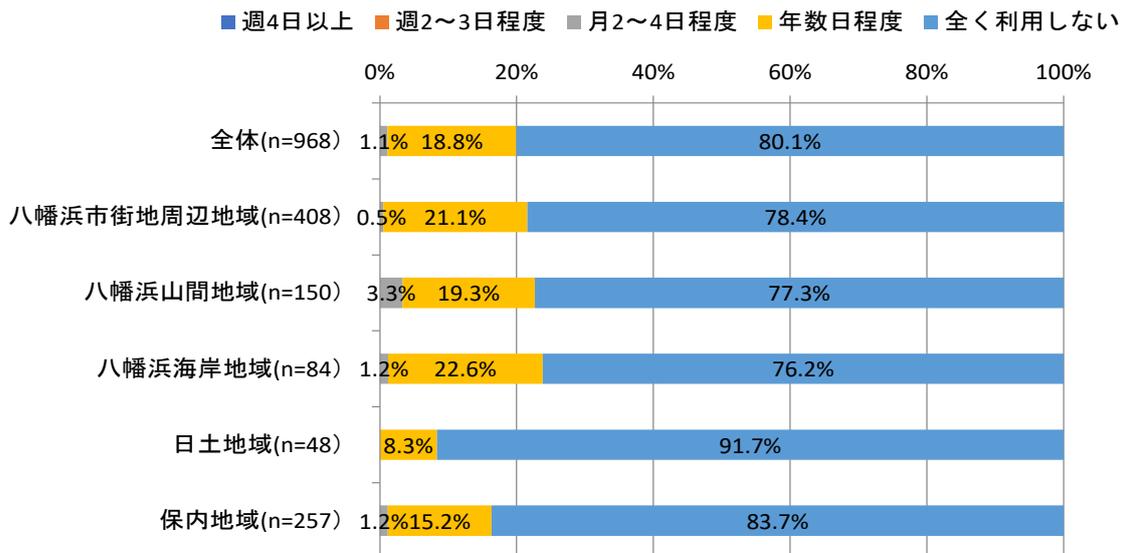


図 11 船・フェリーの利用頻度

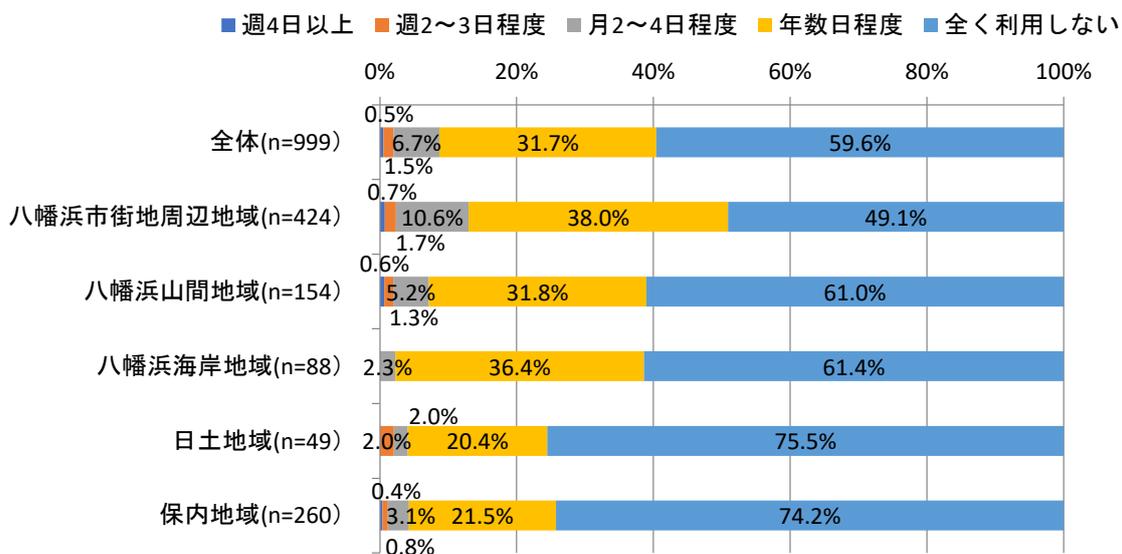


図 12 タクシーの利用頻度

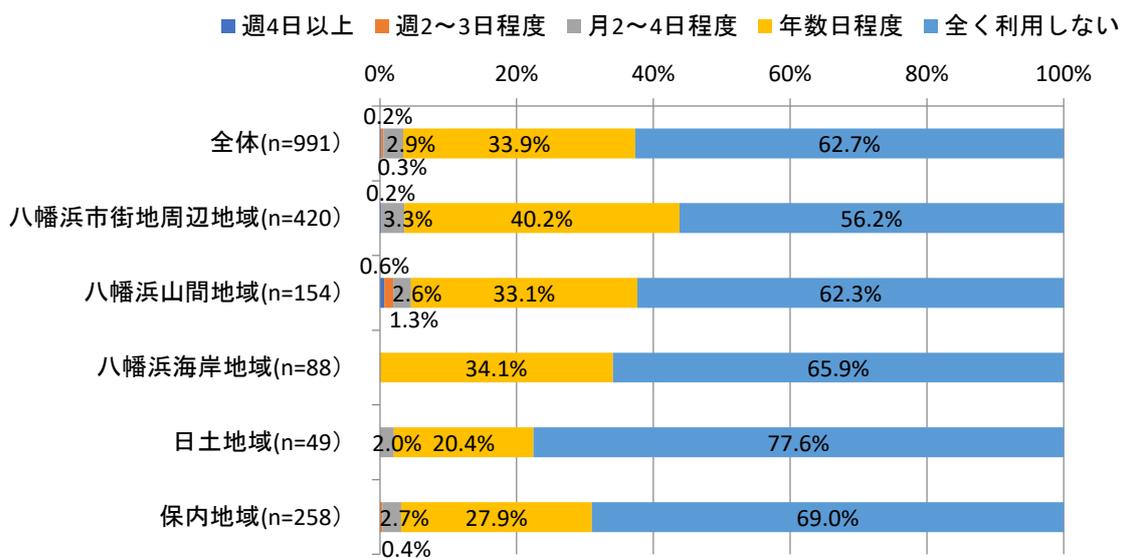


図 13 JR 予讃線の利用頻度

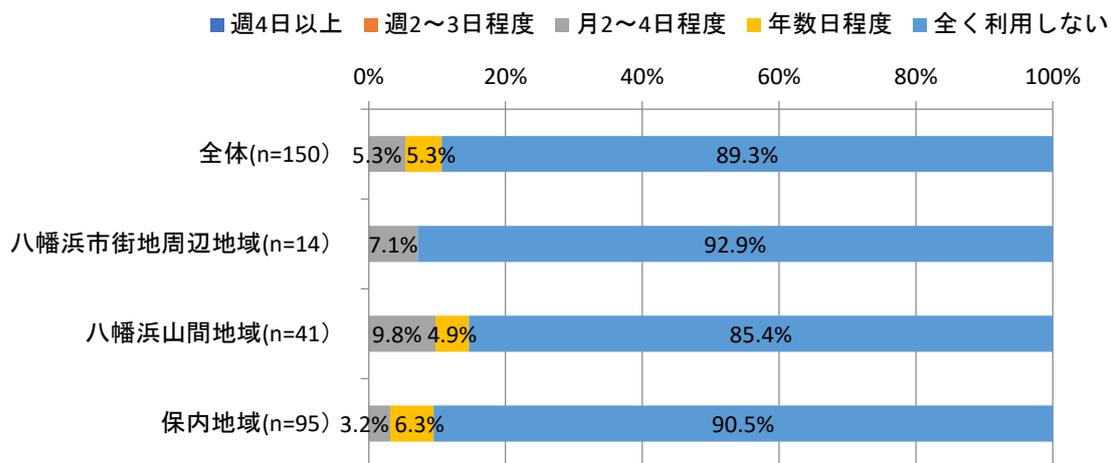


図 14 乗合タクシーの利用頻度（運行する地域のみ回答）

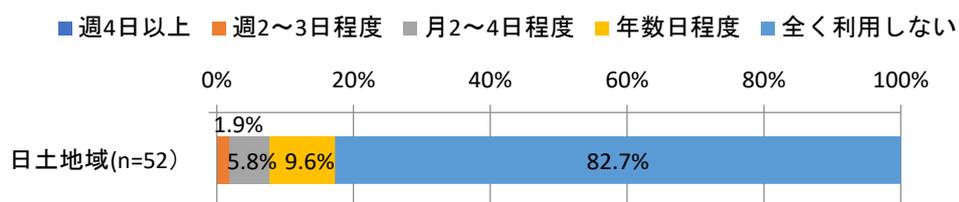


図 15 にこにこバスの利用頻度（運行する地域のみ回答）

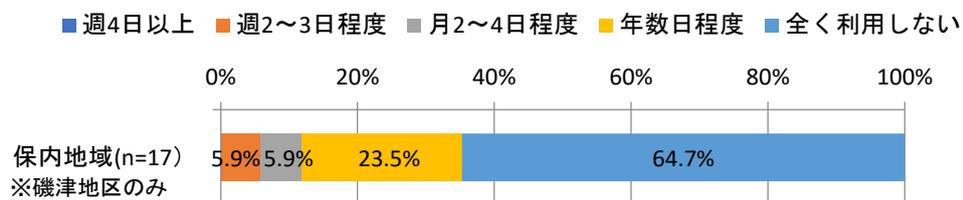


図 16 診療バスの利用頻度（運行する地域のみ回答）

1-2-3 通勤・通学について

- 80%が月 20 日以上出勤しており、97%が在宅勤務は 1 日も無いと回答しています。
- 通勤方法は全ての地域で「車（自分で運転）」の割合が最も高くなっています。
- 通学手段は「自転車」が最も多く、次いで多いのが「(家族や知人による送迎)」です。

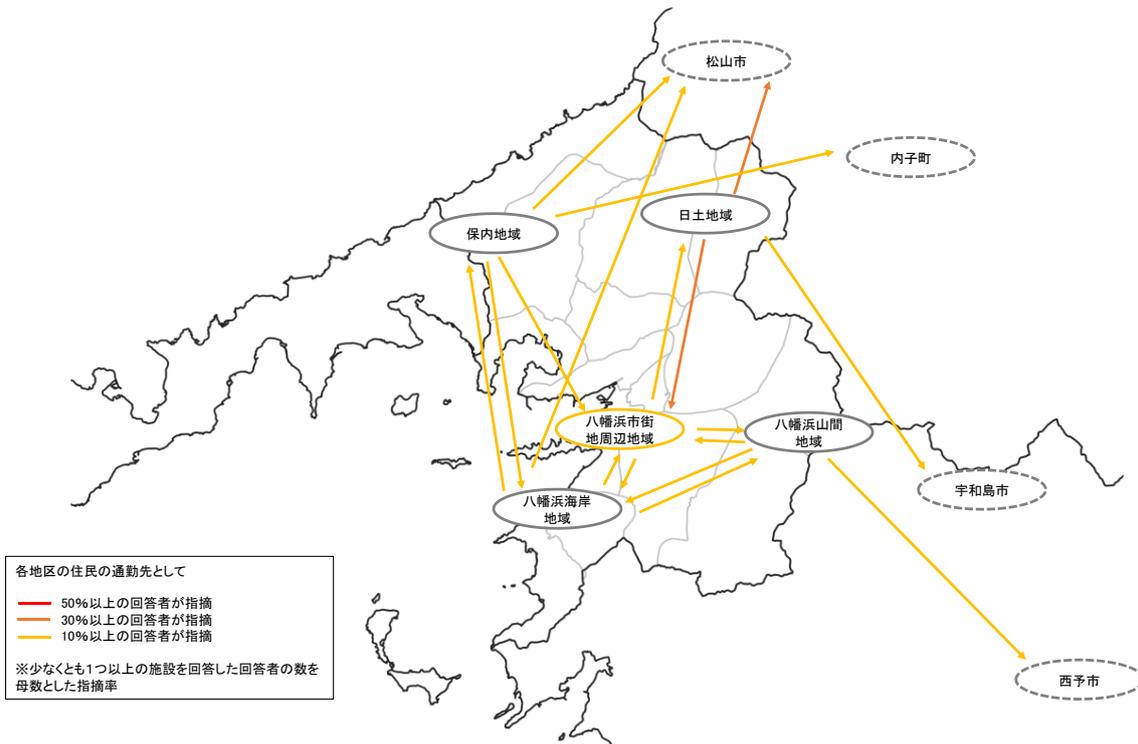


図 17 通勤先

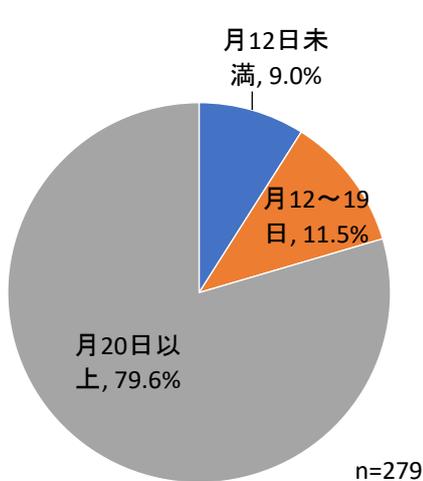


図 18 通勤の頻度

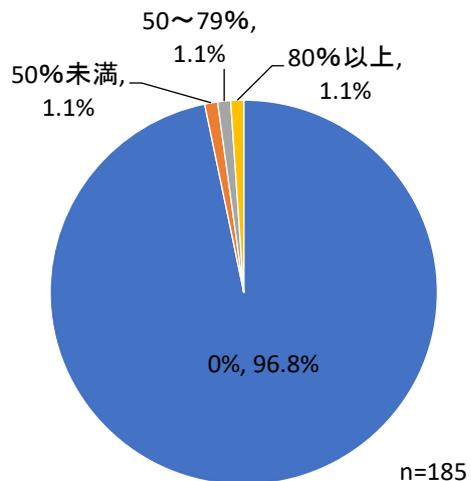


図 19 在宅勤務の割合

移手段	八幡浜市街地周辺地域	八幡浜山間地域	八幡浜海岸地域	日土地域	保内地域
徒歩	26 21.8%	5 8.9%	3 16.7%	0 0.0%	13 15.7%
自転車	22 18.5%	7 12.5%	2 11.1%	0 0.0%	11 13.3%
自動二輪・原付	11 9.2%	9 16.1%	3 16.7%	1 14.3%	2 2.4%
車（自分で運転）	65 54.6%	33 58.9%	12 66.7%	5 71.4%	60 72.3%
シニアカー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
車（家族や知人による送迎）	6 5.0%	4 7.1%	4 22.2%	1 14.3%	4 4.8%
通勤通学先の送迎	1 0.8%	2 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.8%
路線バス	2 1.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%
乗合タクシー	0 0.0%	1 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
にこにこバス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
診療バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
船・フェリー	0 0.0%	0 0.0%	1 5.6%	0 0.0%	0 0.0%
タクシー	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%
JR予讃線	1 0.8%	3 5.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
回答者数（n）	119	56	18	7	83

※複数回答可

図 20 通勤の手段

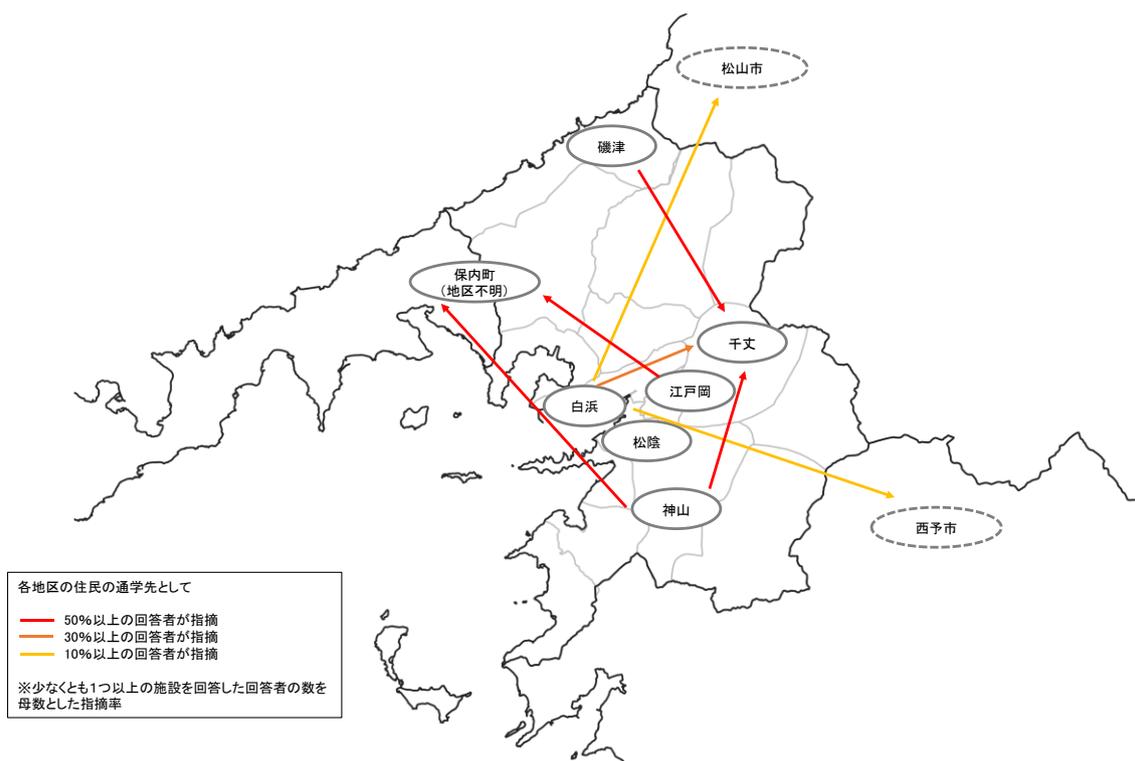


図 21 通学先

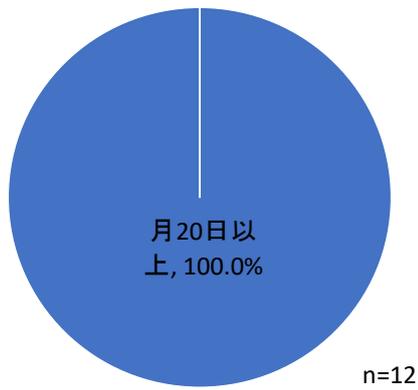


図 22 通学の頻度

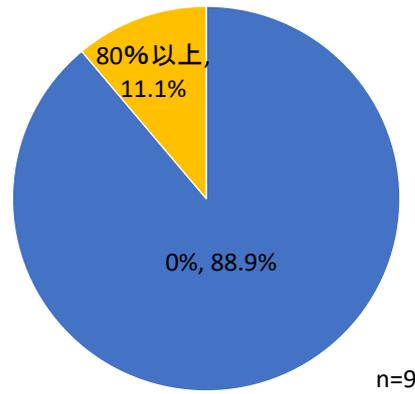


図 23 在宅オンライン授業の割合

移動手段	八幡浜市街地周辺地域	八幡浜山間地域	八幡浜海岸地域	日土地域	保内地域
徒歩	1 16.7%		0.0%	0.0%	0.0%
自転車	5 83.3%		1 100.0%	2 100.0%	2 66.7%
自動二輪・原付	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
車（自分で運転）	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
シニアカー	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
車（家族や知人による送迎）	1 16.7%		1 100.0%	2 100.0%	3 100.0%
通勤通学先の送迎	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
路線バス	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
船・フェリー	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
タクシー	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
JR予讃線	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
乗合タクシー	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
にこにこバス	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
診療バス	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
その他	0.0%		0.0%	0.0%	0.0%
回答者数（n）	6	0	1	2	3

※複数回答可

図 24 通学的手段

1-2-4 日常的な買い物・通院・その他の外出について

- 全ての地域で、買い物では「フジグラン北浜」、通院では「市立八幡浜市民病院」が3位以内に入っています。
- 買い物に行く手段は、八幡浜市街地周辺地域以外全ての地域で「車（自分で運転）」の割合が50%を超えています。
- 週に1回以上通院している人は少数です。

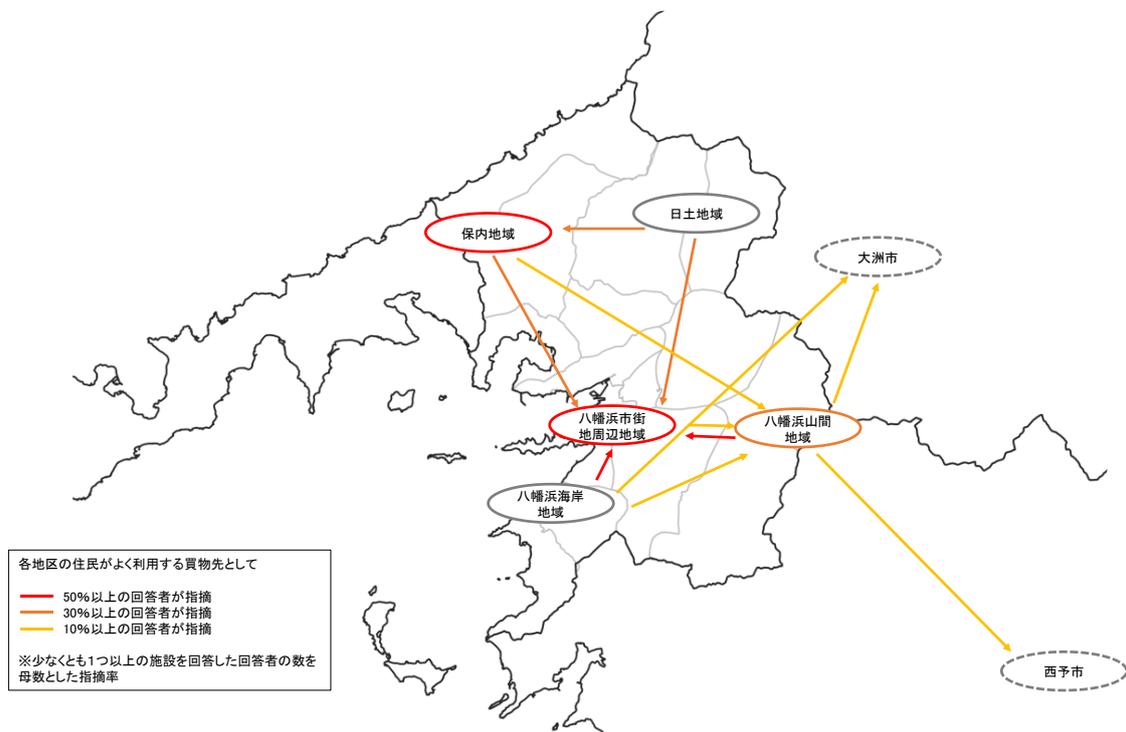


図 25 買い物の目的地（地域別）

項目		①フジグラン北浜	②フジ八幡浜店	③エースワン八幡浜店
利用の頻度	月に2回以下	10	6	6
	月に3~4回	19	14	12
	月に5~8回	37	16	15
	月に9~12回	28	16	11
	月に13回以上	38	25	10
回答者数 (n)		132	77	54
移動手段	徒歩	41 27.7%	21 23.6%	14 23.7%
	自転車	48 32.4%	18 20.2%	8 13.6%
	自動二輪・原付	9 6.1%	7 7.9%	3 5.1%
	車（自分で運転）	62 41.9%	43 48.3%	32 54.2%
	シニアカー	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
	車（家族や知人による送迎）	32 21.6%	11 12.4%	13 22.0%
	通勤通学先の送迎	0 0.0%	0 0.0%	2 3.4%
	路線バス	4 2.7%	5 5.6%	5 8.5%
	乗合タクシー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	にこにこバス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	診療バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	船・フェリー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	タクシー	6 4.1%	7 7.9%	3 5.1%
	JR予讃線	0 0.0%	0 0.0%	1 1.7%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	回答者数 (n)		148	89

図 26 買い物で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜市街地周辺地域）

項目		①フジ八幡浜店	②エースワン八幡浜店	③フジグラン北浜
利用の頻度	月に2回以下	4	3	2
	月に3~4回	9	9	5
	月に5~8回	13	6	8
	月に9~12回	3	8	4
	月に13回以上	14	8	7
回答者数 (n)		43	34	26
移動手段	徒歩	3 6.7%	5 11.6%	1 3.3%
	自転車	8 17.8%	5 11.6%	1 3.3%
	自動二輪・原付	4 8.9%	5 11.6%	3 10.0%
	車（自分で運転）	29 64.4%	32 74.4%	23 76.7%
	シニアカー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	車（家族や知人による送迎）	8 17.8%	4 9.3%	7 23.3%
	通勤通学先の送迎	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%
	路線バス	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%
	乗合タクシー	2 4.4%	1 2.3%	0 0.0%
	にこにこバス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	診療バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	船・フェリー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	タクシー	1 2.2%	1 2.3%	0 0.0%
	JR予讃線	2 4.4%	1 2.3%	1 3.3%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
回答者数 (n)		45	43	30

図 27 買い物で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜山間地域）

項目		①フジグラン北浜	②フジ八幡浜店	③エースワン八幡浜店
利用の頻度	月に2回以下	5	2	1
	月に3~4回	6	6	5
	月に5~8回		6	4
	月に9~12回	3		2
	月に13回以上		1	1
	回答者数 (n)	14	15	13
移動手段	徒歩	1 6.3%		0.0%
	自転車			0.0%
	自動二輪・原付	1 6.3%	4 26.7%	1 7.7%
	車（自分で運転）	11 68.8%	10 66.7%	12 92.3%
	シニアカー			0.0%
	車（家族や知人による送迎）	5 31.3%	3 20.0%	3 23.1%
	通勤通学先の送迎	1 6.3%		0.0%
	路線バス	1 6.3%	2 13.3%	1 7.7%
	乗合タクシー			0.0%
	にこにこバス			0.0%
	診療バス			0.0%
	船・フェリー			0.0%
	タクシー			0.0%
	JR予讃線			0.0%
	その他			0.0%
	回答者数 (n)	16	15	13

図 28 買い物で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜海岸地域）

項目		①ショッピングセンターほない	①フジグラン北浜	③木村チェーン保内店
利用の頻度	月に2回以下	3	1	1
	月に3~4回	4	2	1
	月に5~8回	2	2	2
	月に9~12回	1	1	2
	月に13回以上	1	3	1
	回答者数 (n)	11	9	7
移動手段	徒歩	1 8.3%		0.0%
	自転車		1 9.1%	0.0%
	自動二輪・原付	4 33.3%	1 9.1%	0.0%
	車（自分で運転）	7 58.3%	7 63.6%	6 85.7%
	シニアカー			0.0%
	車（家族や知人による送迎）	2 16.7%	2 18.2%	1 14.3%
	通勤通学先の送迎			0.0%
	路線バス			0.0%
	乗合タクシー			0.0%
	にこにこバス			0.0%
	診療バス			0.0%
	船・フェリー			0.0%
	タクシー		1 9.1%	0.0%
	JR予讃線		1 9.1%	0.0%
その他			0.0%	
回答者数 (n)	12	11	7	

図 29 買い物で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（日土地域）

項目		①木村チェーン保内店	②フジグラン北浜	③ディスカウントドラッグコスモス保内店
利用の頻度	月に2回以下	3	7	3
	月に3～4回	16	20	7
	月に5～8回	19	15	12
	月に9～12回	16	10	7
	月に13回以上	15	6	12
回答者数 (n)		69	58	41
移動手段	徒歩	11 15.5%	0.0%	7 15.9%
	自転車	9 12.7%	4 6.9%	4 9.1%
	自動二輪・原付	4 5.6%	0.0%	3 6.8%
	車（自分で運転）	49 69.0%	46 79.3%	37 84.1%
	シニアカー	0.0%	0.0%	0.0%
	車（家族や知人による送迎）	10 14.1%	8 13.8%	3 6.8%
	通勤通学先の送迎	0.0%	1 1.7%	0.0%
	路線バス	1 1.4%	4 6.9%	1 2.3%
	乗合タクシー	0.0%	0.0%	0.0%
	にこにこバス	0.0%	0.0%	0.0%
	診療バス	0.0%	0.0%	0.0%
	船・フェリー	0.0%	0.0%	0.0%
	タクシー	0.0%	0.0%	0.0%
	JR予讃線	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数 (n)		71	58	44

図 30 買い物で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（保内地域）

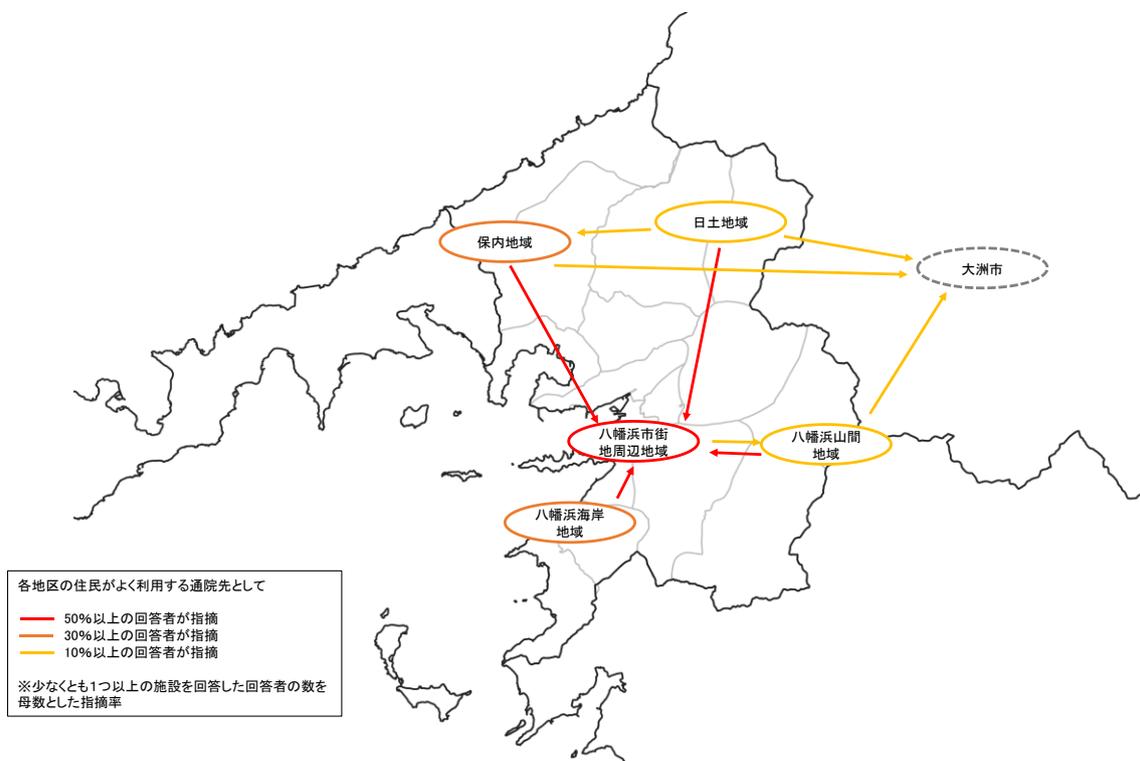


図 31 通院の目的地（地域別）

項目		①市立八幡浜総合病院	②広瀬病院	③こくぶ内科クリニック
利用の頻度	月に1回未満	11		2
	月に1～2回	38	9	16
	月に3～4回	2	2	1
	月に5回以上		7	
	回答者数 (n)	51	18	19
移動手段	徒歩	11 16.2%	9 40.9%	3 14.3%
	自転車	13 19.1%	3 13.6%	3 14.3%
	自動二輪・原付	3 4.4%	1 4.5%	0 0.0%
	車（自分で運転）	24 35.3%	6 27.3%	12 57.1%
	シニアカー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	車（家族や知人による送迎）	12 17.6%	3 13.6%	5 23.8%
	通勤通学先の送迎	1 1.5%	1 4.5%	0 0.0%
	路線バス	10 14.7%	1 4.5%	0 0.0%
	乗合タクシー	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%
	にこにこバス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	診療バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	船・フェリー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	タクシー	13 19.1%	2 9.1%	2 9.5%
	JR予讃線	1 1.5%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	2 2.9%	1 4.5%	0 0.0%
回答者数 (n)	68	22	21	

図 32 通院で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜市街地周辺地域）

項目		①市立八幡浜総合病院	②こくぶ内科クリニック	③広瀬病院	④旭町内科クリニック
利用の頻度	月に1回未満	5	3	1	
	月に1～2回	16	14	5	9
	月に3～4回	3	1	1	
	月に5回以上	1		1	
	回答者数 (n)	25	18	8	9
移動手段	徒歩	1 3.6%	5 23.8%	0 0.0%	0 0.0%
	自転車	1 3.6%	7 33.3%	1 11.1%	0 0.0%
	自動二輪・原付	0 0.0%	2 9.5%	0 0.0%	0 0.0%
	車（自分で運転）	18 64.3%	7 33.3%	8 88.9%	6 85.7%
	シニアカー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	車（家族や知人による送迎）	5 17.9%	3 14.3%	2 22.2%	1 14.3%
	通勤通学先の送迎	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	路線バス	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	乗合タクシー	3 10.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	にこにこバス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	診療バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	船・フェリー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	タクシー	3 10.7%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%
	JR予讃線	2 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
回答者数 (n)	28	21	9	7	

図 33 通院で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜山間地域）

項目		①穴井診療所	②市立八幡浜総合病院	③浅田内科医院
利用の頻度	月に1回未満		4	1
	月に1~2回	14	9	6
	月に3~4回		1	
	月に5回以上			
回答者数 (n)		14	14	7
移動手段	徒歩	9 60.0%	0 0.0%	0 0.0%
	自転車	0 0.0%	1 7.7%	1 16.7%
	自動二輪・原付	2 13.3%	0 0.0%	1 16.7%
	車（自分で運転）	3 20.0%	10 76.9%	4 66.7%
	シニアカー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	車（家族や知人による送迎）	1 6.7%	1 7.7%	0 0.0%
	通勤通学先の送迎	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	路線バス	1 6.7%	1 7.7%	0 0.0%
	乗合タクシー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	にこにこバス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	診療バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	船・フェリー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	タクシー	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%
	JR予讃線	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
回答者数 (n)		15	13	6

図 34 通院で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜海岸地域）

項目		①市立八幡浜総合病院	②清水医院	③広瀬病院
利用の頻度	月に1回未満	1		1
	月に1~2回	7	8	3
	月に3~4回			
	月に5回以上			
回答者数 (n)		8	8	4
移動手段	徒歩	0 0.0%	1 14.3%	0 0.0%
	自転車	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	自動二輪・原付	1 10.0%	2 28.6%	0 0.0%
	車（自分で運転）	5 50.0%	4 57.1%	2 40.0%
	シニアカー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	車（家族や知人による送迎）	4 40.0%	1 14.3%	1 20.0%
	通勤通学先の送迎	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	路線バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	乗合タクシー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	にこにこバス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	診療バス	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	船・フェリー	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	タクシー	2 20.0%	0 0.0%	2 40.0%
	JR予讃線	0 0.0%	0 0.0%	1 20.0%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
回答者数 (n)		10	7	5

図 35 通院で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（日土地域）

項目		①市立八幡浜総合病院	②永松内科医院	③二宮医院
利用の頻度	月に1回未満	7		2
	月に1～2回	20	20	14
	月に3～4回	4	2	
	月に5回以上			
回答者数 (n)		31	22	16
移動手段	徒歩	1 (2.3%)	4 (16.0%)	1 (5.9%)
	自転車	1 (2.3%)	6 (24.0%)	1 (5.9%)
	自動二輪・原付	1 (2.3%)	1 (4.0%)	0 (0.0%)
	車 (自分で運転)	31 (72.1%)	13 (52.0%)	12 (70.6%)
	シニアカー	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	車 (家族や知人による送迎)	7 (16.3%)	4 (16.0%)	4 (23.5%)
	通勤通学先の送迎	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	路線バス	3 (7.0%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)
	乗合タクシー	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	にこにこバス	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	診療バス	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	船・フェリー	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	タクシー	2 (4.7%)	2 (8.0%)	0 (0.0%)
	JR予讃線	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
回答者数 (n)		43	25	17

図 36 通院で利用が多い施設の利用頻度と移動手段 (保内地域)

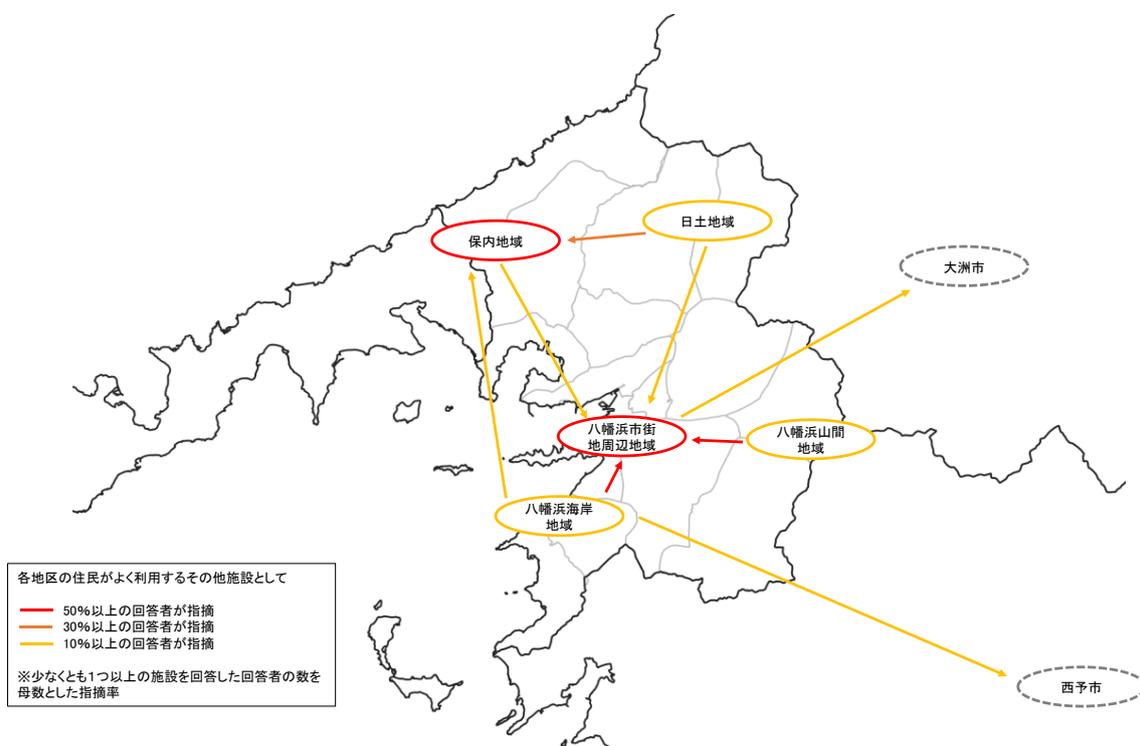


図 37 その他の移動の目的地 (地域別)

項目		①八幡浜市民スポーツセンター	①道の駅 八幡浜みなと	③エミフルMASAKI	③八幡浜市総合福祉文化センター
利用の頻度	月に2回以下		1	7	3
	月に3～4回	4	5	1	3
	月に5～8回	2	1		1
	月に9～12回	2	1		
	月に13回以上	1			
回答者数 (n)		9	8	8	7
移動手段	徒歩	1 12.5%	0.0%	0.0%	5 62.5%
	自転車	5 62.5%	3 33.3%	0.0%	4 50.0%
	自動二輪・原付	1 12.5%	2 22.2%	0.0%	0.0%
	車（自分で運転）	2 25.0%	4 44.4%	6 75.0%	2 25.0%
	シニアカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	車（家族や知人による送迎）	0.0%	1 11.1%	2 25.0%	1 12.5%
	通勤通学先の送迎	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	路線バス	1 12.5%	1 11.1%	0.0%	0.0%
	乗合タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	にこにこバス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	診療バス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	船・フェリー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	タクシー	1 12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	JR予讃線	0.0%	0.0%	1 12.5%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数 (n)		8	9	8	8

図 38 その他の移動で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜市街地周辺地域）

項目		①道の駅 八幡浜みなと	②八幡浜市民スポーツセンター	②八幡浜市立市民図書館
利用の頻度	月に2回以下	3		2
	月に3～4回	1	1	1
	月に5～8回		1	
	月に9～12回	1	1	
	月に13回以上			
回答者数 (n)		6	3	3
移動手段	徒歩	0.0%	0.0%	0.0%
	自転車	0.0%	0.0%	0.0%
	自動二輪・原付	0.0%	0.0%	0.0%
	車（自分で運転）	4 66.7%	3 100.0%	3 100.0%
	シニアカー	0.0%	0.0%	0.0%
	車（家族や知人による送迎）	2 33.3%	1 33.3%	0.0%
	通勤通学先の送迎	0.0%	0.0%	1 33.3%
	路線バス	0.0%	0.0%	0.0%
	乗合タクシー	0.0%	0.0%	0.0%
	にこにこバス	0.0%	0.0%	0.0%
	診療バス	0.0%	0.0%	0.0%
	船・フェリー	0.0%	0.0%	0.0%
	タクシー	0.0%	0.0%	0.0%
	JR予讃線	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数 (n)		6	3	3

図 39 その他の移動で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜山間地域）

項目		①八幡浜市立市民図書館	
利用の頻度	月に2回以下	2	
	月に3～4回	1	
	月に5～8回		
	月に9～12回		
	月に13回以上		
	回答者数 (n)	3	
移動手段	徒歩		0.0%
	自転車		0.0%
	自動二輪・原付		0.0%
	車（自分で運転）	2	66.7%
	シニアカー		0.0%
	車（家族や知人による送迎）	1	33.3%
	通勤通学先の送迎		0.0%
	路線バス		0.0%
	乗合タクシー		0.0%
	にこにこバス		0.0%
	診療バス		0.0%
	船・フェリー		0.0%
	タクシー		0.0%
	JR予讃線		0.0%
	その他		0.0%
回答者数 (n)	3		

図 40 その他の移動で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（八幡浜海岸地域）

項目		①JAIにしようわ日土出張所		②JAグリーン		③八幡浜市立保内図書館	
利用の頻度	月に2回以下	1		2		1	
	月に3～4回	1				1	
	月に5～8回						
	月に9～12回	1					
	月に13回以上						
	回答者数 (n)	3		2		2	
移動手段	徒歩		0.0%		0.0%	1	50.0%
	自転車		0.0%		0.0%		0.0%
	自動二輪・原付		0.0%		0.0%		0.0%
	車（自分で運転）	3	100.0%	2	100.0%	1	50.0%
	シニアカー		0.0%		0.0%		0.0%
	車（家族や知人による送迎）		0.0%		0.0%	1	50.0%
	通勤通学先の送迎		0.0%		0.0%		0.0%
	路線バス		0.0%		0.0%		0.0%
	乗合タクシー		0.0%		0.0%		0.0%
	にこにこバス		0.0%		0.0%		0.0%
	診療バス		0.0%		0.0%		0.0%
	船・フェリー		0.0%		0.0%		0.0%
	タクシー		0.0%		0.0%		0.0%
	JR予讃線		0.0%		0.0%		0.0%
	その他		0.0%		0.0%		0.0%
回答者数 (n)	3		2		2		

図 41 その他の移動で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（日土地域）

項目		①フジグラン北浜	②八幡浜市民スポーツセンター	③八幡浜黒湯温泉みなと湯
利用の頻度	月に2回以下	2		
	月に3～4回	1	2	1
	月に5～8回	1	1	
	月に9～12回			1
	月に13回以上			
	回答者数 (n)	4	3	2
移動手段	徒歩	0.0%	0.0%	1 33.3%
	自転車	0.0%	0.0%	0.0%
	自動二輪・原付	1 20.0%	0.0%	0.0%
	車（自分で運転）	4 80.0%	3 100.0%	2 66.7%
	シニアカー	0.0%	0.0%	0.0%
	車（家族や知人による送迎）	0.0%	0.0%	0.0%
	通勤通学先の送迎	0.0%	0.0%	1 33.3%
	路線バス	1 20.0%	0.0%	1 33.3%
	乗合タクシー	0.0%	0.0%	0.0%
	にこにこバス	0.0%	0.0%	0.0%
	診療バス	0.0%	0.0%	0.0%
	船・フェリー	0.0%	0.0%	0.0%
	タクシー	0.0%	0.0%	0.0%
	JR予讃線	0.0%	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%	0.0%
回答者数 (n)	5	3	3	

項目		③川三石地区交流拠点施設みなせ	③宮内地区公民館
利用の頻度	月に2回以下		
	月に3～4回	2	2
	月に5～8回	1	1
	月に9～12回		
	月に13回以上		
	回答者数 (n)	3	3
移動手段	徒歩	0.0%	1 33.3%
	自転車	0.0%	0.0%
	自動二輪・原付	0.0%	0.0%
	車（自分で運転）	2 66.7%	2 66.7%
	シニアカー	0.0%	0.0%
	車（家族や知人による送迎）	1 33.3%	0.0%
	通勤通学先の送迎	0.0%	0.0%
	路線バス	0.0%	0.0%
	乗合タクシー	0.0%	0.0%
	にこにこバス	0.0%	0.0%
	診療バス	0.0%	0.0%
	船・フェリー	0.0%	0.0%
	タクシー	0.0%	0.0%
	JR予讃線	0.0%	0.0%
	その他	0.0%	0.0%
回答者数 (n)	3	3	

図 42 その他の移動で利用が多い施設の利用頻度と移動手段（保内地域）

1-2-5 重要と思う改善点と改善後の利用意向について

- 全ての公共交通手段で「困っていることは無い」割合が最も高くなっています。
- 次いで割合が高いのは、路線バスが「便数を増やす」、船・フェリー、タクシー、JR 予讃線が「金銭的負担を軽くする」となっています。
- 乗合タクシー、にこにこバス、診療バスの全てで「家の近くで乗降できるようにする」が3位以内に入っています。

項目	路線バス	
運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする	82	12.1%
バス停名称を整理する	3	0.4%
乗り方をわかりやすくする	15	2.2%
他の公共交通との接続を良くする	49	7.2%
段差などを無くしバリアフリーにする	30	4.4%
バス停に駐輪場や駐車場を整理する	8	1.2%
バス停に屋根や椅子、トイレを設置する	37	5.5%
バス停以外でも乗降できるようにする	82	12.1%
便数を増やす	102	15.0%
金銭的負担を軽くする	49	7.2%
困っていることは無い	184	27.1%
その他	37	5.5%
回答者数 (n)	678	

図 43 改善点 (路線バス)

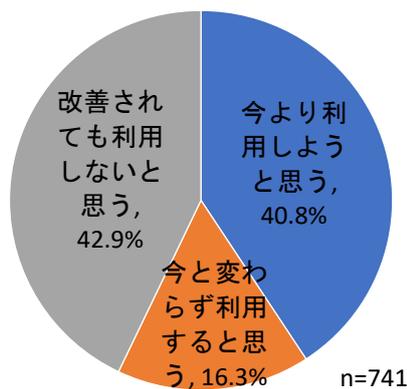


図 44 改善後の利用意向 (路線バス)

項目	船・フェリー	
運航時刻や運航経路の案内をわかりやすくする	26	4.1%
乗り方をわかりやすくする	17	2.7%
他の公共交通との接続を良くする	40	6.3%
段差などを無くしバリアフリーにする	13	2.0%
港に駐輪場や駐車場を整理する	60	9.4%
港に屋根や椅子、トイレを設置する	1	0.2%
港とバス停を近くする	27	4.3%
便数を増やす	8	1.3%
金銭的負担を軽くする	129	20.3%
困っていることは無い	272	42.8%
その他	42	6.6%
回答者数 (n)	635	

図 45 改善点 (船・フェリー)

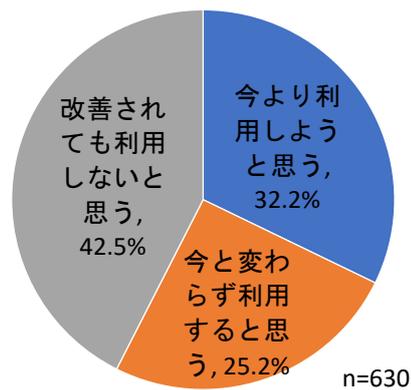


図 46 改善後の利用意向 (船・フェリー)

項目	タクシー	
予約を断られないようにする	30	4.1%
予約を簡単にできるようにする	81	11.1%
配車アプリを使えるようにする	21	2.9%
キャッシュレス決済を導入する	23	3.1%
車両を新しくする	7	1.0%
早朝・夜間に営業する	20	2.7%
金銭的負担を軽くする	206	28.1%
困っていることはない	310	42.3%
その他	34	4.6%
回答者数 (n)	732	

図 47 改善点 (タクシー)

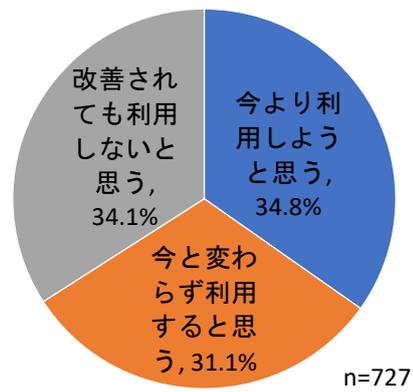


図 48 改善後の利用意向 (タクシー)

項目	JR予讃線	
運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする	39	5.7%
乗り方をわかりやすくする	25	3.6%
他の公共交通との接続を良くする	58	8.5%
段差などを無くしバリアフリーにする	42	6.1%
駅に駐輪場や駐車場を整理する	47	6.9%
駅に屋根や椅子、トイレを設置する	5	0.7%
駅とバス停を近くする	3	0.4%
便数を増やす	61	8.9%
金銭的負担を軽くする	117	17.1%
困っていることは無い	248	36.2%
その他	41	6.0%
回答者数 (n)	686	

図 49 改善点 (JR 予讃線)

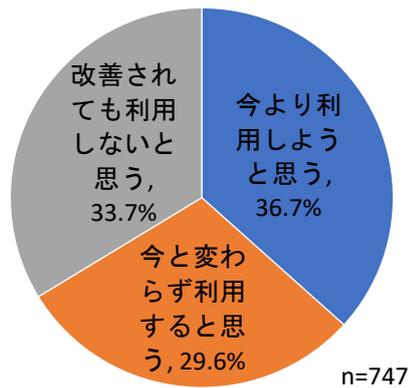


図 50 改善後の利用意向 (JR 予讃線)

項目	乗合タクシー	にこにこバス	診療バス
運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする	21 22.3%	4 13.3%	1 8.3%
乗り方をわかりやすくする	5 5.3%	0.0%	1 8.3%
他の公共交通との接続を良くする	2 2.1%	0.0%	1 8.3%
段差などを無くしバリアフリーにする	2 2.1%	0.0%	2 16.7%
のりばに駐輪場や駐車場を整理する	2 2.1%	0.0%	0.0%
のりばに屋根や椅子、トイレを設置する	1 1.1%	0.0%	0.0%
家の近くで乗降できるようにする	17 18.1%	8 26.7%	2 16.7%
便数を増やす	9 9.6%	4 13.3%	0.0%
金銭的負担を軽くする	6 6.4%	2 6.7%	1 8.3%
困っていることは無い	22 23.4%	10 33.3%	3 25.0%
その他	7 7.4%	2 6.7%	1 8.3%
回答者数 (n)	94	30	12

図 51 改善点（その他の公共交通※それぞれ運行する地域のみ回答）

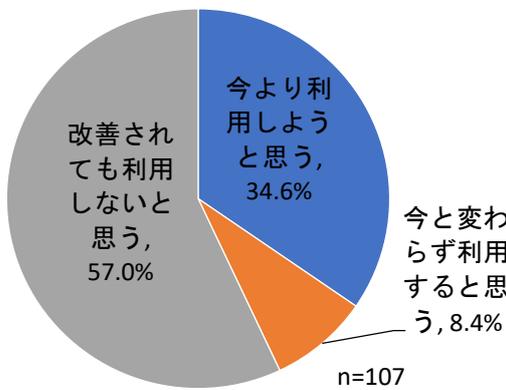


図 52 改善後の利用意向（乗合タクシー）

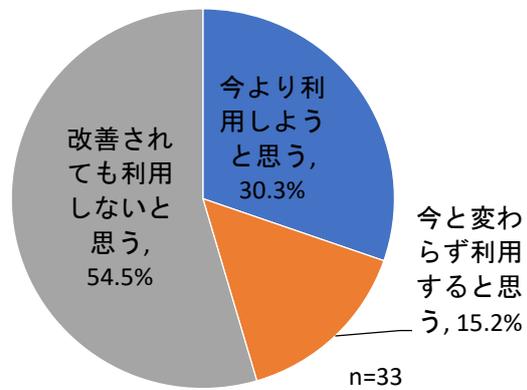


図 53 改善後の利用意向（にこにこバス）

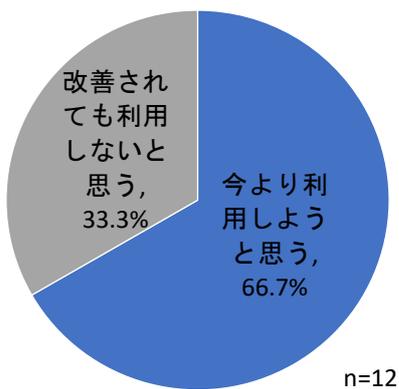


図 54 改善後の利用意向（診療バス）

1-2-6 外出に関する今後の不安の有無や日常生活への影響について

- 80%以上が現在は自由に外出できているが、「自由に外出できており、今後も不安はない」割合は全ての地域で50%を下回っています。また、全体で11%の住民が現状の移動手段では外出を我慢しており、3%は生活に支障が出ていると回答しています。

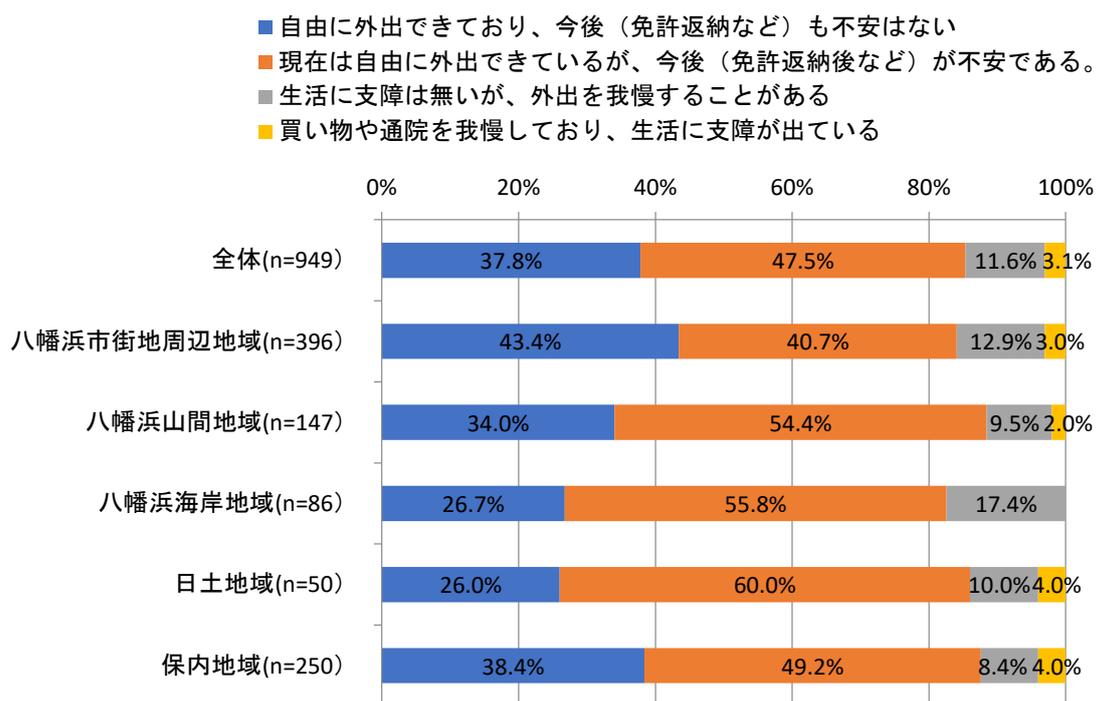


図 55 外出に関する今後の不安の有無や日常生活への影響について

1-2-7 公共交通のサービスレベルと財政支出について

- 「現状並みの財政支出で、改善を加えながらサービスを維持するべき」の割合が70%を超えています。

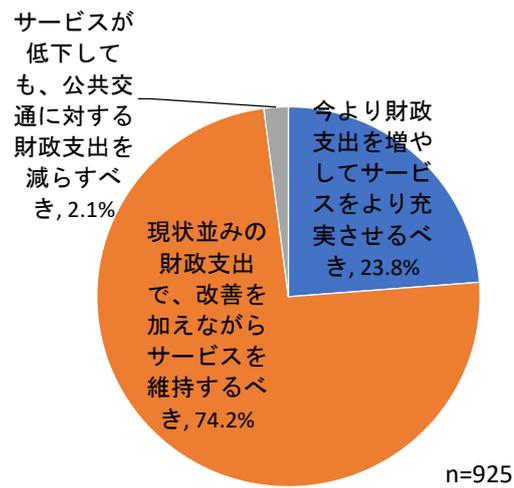


図 56 公共交通のサービスレベルと財政支出に関する意向

1-3 調査票

アンケート調査票 (①その他地区)

WEBでもご回答いただけます→ 

八幡浜市民のお出かけに関するアンケート調査票

問1 ご自身のことについてお伺いします。

①郵便番号	〒 - ※ご不明な場合は地区名をご記入ください→ () 例:真網代
②性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他・答えたくない
③年齢	<input type="checkbox"/> 15~29歳 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上
④職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員・公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 ()
⑤世帯人数	自分を含めて()人 ※同じ住居に住んでいる人数をお答えください。
⑥免許保有状況	<input type="checkbox"/> 自動車運転免許あり <input type="checkbox"/> バイク・原付運転免許のみあり <input type="checkbox"/> 運転免許を返納し、現在は持っていない <input type="checkbox"/> もともと持っていない
⑦免許返納意向	<input type="checkbox"/> すでに返納した <input type="checkbox"/> 2~3年以内に返納しようと思っている <input type="checkbox"/> 5年以内に返納しようと思っている <input type="checkbox"/> 返納は必要だと感じているが返納できない <input type="checkbox"/> 当分返納するつもりはない
⑧自家用車保有状況	<input type="checkbox"/> 自分が自由に使える車がある <input type="checkbox"/> 家族と共用する車がある(自分も運転できる) <input type="checkbox"/> 家族が送迎してくれる車がある <input type="checkbox"/> 世帯に車は無い

問2 日常生活において以下の公共交通はどのくらいの頻度で利用しますか。(①~④で1つずつ✓)

① 路線バス	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
② 船・フェリー	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
③ タクシー	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
④ JR 予讃線	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない

問3 通勤・通学に関する次の項目について、具体的にご記入ください。
※通勤・通学されていない方は**問4**へお進みください。

通勤通学先の所在地	()市・町() ※字名または○丁目までご記入ください。【例】八幡浜市北浜一丁目
勤務・授業日数	月に約()日 その内、在宅で勤務する・授業を受ける日数()日
交通手段 複数の交通手段を 乗り継ぐ場合は 全てに✓	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動二輪・原付 <input type="checkbox"/> 車(自分で運転) <input type="checkbox"/> シニアカー <input type="checkbox"/> 車(家族や知人による送迎) <input type="checkbox"/> 通勤通学先の送迎 <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> 船・フェリー <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> JR 予讃線 <input type="checkbox"/> その他()

①

問4 普段よく行く買い物先や通院先、その他外出先（趣味、娯楽、地域での活動等）の行き先と1か月の訪問回数、交通手段をお答えください。

買い物		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	店名又は所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □目的地の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □船・フェリー ¹⁰ □タクシー ¹¹ □JR 予讃線 ¹² □その他（)
次によく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	店名又は所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □目的地の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □船・フェリー ¹⁰ □タクシー ¹¹ □JR 予讃線 ¹² □その他（)

通院		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通院先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □船・フェリー ¹⁰ □タクシー ¹¹ □JR 予讃線 ¹² □その他（)
次によく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通院先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □船・フェリー ¹⁰ □タクシー ¹¹ □JR 予讃線 ¹² □その他（)

その他		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □目的地の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □船・フェリー ¹⁰ □タクシー ¹¹ □JR 予讃線 ¹² □その他（)

①

問 5 以下の交通手段で、最も重要だと思う改善点をお答えください。また、それぞれの交通手段でお答えいただいたように改善されれば、今より利用しようと思いませんか。
(改善点、利用意向それぞれ1つずつ)

①路線バス	
改善点	¹ □運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする ² □バス停名称を整理する ³ □乗り方をわかりやすくする ⁴ □他の公共交通との接続を良くする ⁵ □段差などを無くしバリアフリーにする ⁶ □バス停に駐輪場や駐車場を整備する ⁷ □バス停に屋根や椅子、トイレを設置する ⁸ □バス停以外でも乗降できるようにする ⁹ □便数を増やす ¹⁰ □金銭的負担を軽くする ¹¹ □困っていることはない ¹² □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思う ² □今と変わらず利用すると思う ³ □改善されても利用しないと思う
②船・フェリー	
改善点	¹ □運航時刻や運航経路の案内をわかりやすくする ² □乗り方をわかりやすくする ³ □他の公共交通との接続を良くする ⁴ □段差などを無くしバリアフリーにする ⁵ □港に駐輪場や駐車場を整備する ⁶ □港に屋根や椅子、トイレを設置する ⁷ □港とバス停を近くする ⁸ □便数を増やす ⁹ □金銭的負担を軽くする ¹¹ □困っていることはない ¹² □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思う ² □今と変わらず利用すると思う ³ □改善されても利用しないと思う
③タクシー	
改善点	¹ □予約を断られないようにする ² □予約を簡単にできるようにする ³ □配車アプリを使えるようにする ⁴ □キャッシュレス決済を導入する ⁵ □車両を新しくする ⁶ □早朝・夜間に営業する ⁷ □金銭的負担を軽くする ⁸ □困っていることはない ⁹ □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思う ² □今と変わらず利用すると思う ³ □改善されても利用しないと思う
④JR 予讃線	
改善点	¹ □運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする ² □乗り方をわかりやすくする ³ □他の公共交通との接続を良くする ⁴ □段差などを無くしバリアフリーにする ⁵ □駅に駐輪場や駐車場を整備する ⁶ □駅に屋根や椅子、トイレを設置する ⁷ □駅とバス停を近くする ⁸ □便数を増やす ⁹ □金銭的負担を軽くする ¹⁰ □困っていることはない ¹¹ □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思う ² □今と変わらず利用すると思う ³ □改善されても利用しないと思う

→次ページに続く

①

問 6 現在利用している移動手段での外出について、該当するものをお答えください。(1つに✓)

- ¹自由に外出できており、今後（免許返納後など）も不安はない
- ²現在は自由に外出できているが、今後（免許返納後など）が不安である
- ³生活に支障は無いが、外出を我慢することがある
- ⁴買い物や通院を我慢しており、生活に支障が出ている

問 7 その他外出や移動に際して困っていることがあればお答えください。

問 8 次の文章をお読み頂き、以下の問いにお答えください。

公共交通は、高齢者や児童・生徒、免許を持たない方々の交通手段だけでなく、普段、車を使っても突発的な事態やケガ等で自動車を運転できない場合の代替手段にもなります。八幡浜市では公共交通の維持のために年間約5千万円(市民1人あたり約1,600円)を支出しています。

八幡浜市の公共交通を維持するために税金を支出することについて、お考えをお聞かせください。(1つに✓)

- ¹今より財政支出を増やしてサービスをより充実させるべき
- ²現状並みの財政支出で、改善を加えながらサービスを維持するべき
- ³サービスが低下しても、公共交通に対する財政支出を減らすべき

問 9 八幡浜市の公共交通についてご意見やご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

ご回答いただきありがとうございました

アンケート調査票（②乗合タクシー地区）

WEBでもご回答いただけます→



八幡浜市民のお出かけに関するアンケート調査票

問1 ご自身のことについてお伺いします。

①郵便番号	〒 - ※ご不明な場合は地区名をご記入ください→（ ）例:真網代
②性別	¹ □男性 ² □女性 ³ □その他・答えたくない
③年齢	¹ □15～29歳 ² □30代 ³ □40代 ⁴ □50代 ⁵ □60代 ⁶ □70代 ⁷ □80歳以上
④職業	¹ □学生 ² □会社員・公務員 ³ □自営業 ⁴ □農林水産業 ⁵ □パート・アルバイト ⁶ □主婦・主夫 ⁷ □無職 ⁸ □その他（ ）
⑤世帯人数	自分を含めて（ ）人 ※同じ住居に住んでいる人数をお答えください。
⑥免許保有状況	¹ □自動車運転免許あり ² □バイク・原付運転免許のみあり ³ □運転免許を返納し、現在は持っていない ⁴ □もともと持っていない
⑦免許返納意向	¹ □すでに返納した ² □2～3年以内に返納しようと思っている ³ □5年以内に返納しようと思っている ⁴ □返納は必要だと感じているが返納できない ⁵ □当分返納するつもりはない
⑧自家用車保有状況	¹ □自分が自由に使える車がある ² □家族と共用する車がある(自分も運転できる) ³ □家族が送迎してくれる車がある ⁴ □世帯に車は無い

問2 日常生活において以下の公共交通はどのくらいの頻度で利用しますか。(①～⑤で1つずつ)

①路線バス	¹ □週4日以上 ² □週2～3日程度 ³ □月2～4日程度 ⁴ □年数日程度 ⁵ □全く利用しない
②乗合タクシー	¹ □週4日以上 ² □週2～3日程度 ³ □月2～4日程度 ⁴ □年数日程度 ⁵ □全く利用しない
③船・フェリー	¹ □週4日以上 ² □週2～3日程度 ³ □月2～4日程度 ⁴ □年数日程度 ⁵ □全く利用しない
④タクシー	¹ □週4日以上 ² □週2～3日程度 ³ □月2～4日程度 ⁴ □年数日程度 ⁵ □全く利用しない
⑤JR予讃線	¹ □週4日以上 ² □週2～3日程度 ³ □月2～4日程度 ⁴ □年数日程度 ⁵ □全く利用しない

問3 通勤・通学に関する次の項目について、具体的にご記入ください。

※通勤・通学されていない方は**問4**へお進みください。

通勤通学先の所在地	（ ）市・町（ ） ※字名または〇丁目までご記入ください。【例】八幡浜市北浜一丁目
勤務・授業日数	月に約（ ）日 その内、在宅で勤務する・授業を受ける日数（ ）日
交通手段 複数の交通手段を 乗り継ぐ場合は 全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □乗合タクシー ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR予讃線 ¹³ □その他（ ）

②

問4 普段よく行く買い物先や通院先、その他外出先（趣味、娯楽、地域での活動等）の行き先と1か月の訪問回数、交通手段をお答えください。

買い物			
最もよく行く施設	施設名		1か月の訪問回数
	店名又は所在地		() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □乗合タクシー ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（ ）	
次によく行く施設	施設名		1か月の訪問回数
	店名又は所在地		() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □乗合タクシー ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（ ）	

通院			
最もよく行く施設	施設名		1か月の訪問回数
	所在地		() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □乗合タクシー ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（ ）	
次によく行く施設	施設名		1か月の訪問回数
	所在地		() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □乗合タクシー ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（ ）	

その他			
最もよく行く施設	施設名		1か月の訪問回数
	所在地		() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □乗合タクシー ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（ ）	

②

問 6 現在利用している移動手段での外出について、該当するものをお答えください。(1つに✓)

- 1 自由に外出できており、今後（免許返納後など）も不安はない
- 2 現在は自由に外出できているが、今後（免許返納後など）が不安である
- 3 生活に支障は無いが、外出を我慢することがある
- 4 買い物や通院を我慢しており、生活に支障が出ている

問 7 その他外出や移動に際して困っていることがあればお答えください。

問 8 次の文章をお読み頂き、以下の問いにお答えください。

公共交通は、高齢者や児童・生徒、免許を持たない方々の交通手段だけでなく、普段、車を使っても突発的な事態やケガ等で自動車を運転できない場合の代替手段にもなります。八幡浜市では公共交通の維持のために年間約 5 千万円(市民 1 人あたり約 1,600 円)を支出しています。

八幡浜市の公共交通を維持するために税金を支出することについて、お考えをお聞かせください。(1つに✓)

- 1 今より財政支出を増やしてサービスをより充実させるべき
- 2 現状並みの財政支出で、改善を加えながらサービスを維持するべき
- 3 サービスが低下しても、公共交通に対する財政支出を減らすべき

問 9 八幡浜市の公共交通についてご意見やご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

ご回答いただきありがとうございました

アンケート調査票（③にこここバス地区）

WEBでもご回答いただけます→



八幡浜市民のお出かけに関するアンケート調査票

問1 ご自身のことについてお伺いします。

①郵便番号	〒 - ※ご不明な場合は地区名をご記入ください→ () 例:真網代
②性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他・答えたくない
③年齢	<input type="checkbox"/> 15~29歳 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上
④職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員・公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 ()
⑤世帯人数	自分を含めて()人 ※同じ住居に住んでいる人数をお答えください。
⑥免許保有状況	<input type="checkbox"/> 自動車運転免許あり <input type="checkbox"/> バイク・原付運転免許のみあり <input type="checkbox"/> 運転免許を返納し、現在は持っていない <input type="checkbox"/> もともと持っていない
⑦免許返納意向	<input type="checkbox"/> すでに返納した <input type="checkbox"/> 2~3年以内に返納しようと思っている <input type="checkbox"/> 5年以内に返納しようと思っている <input type="checkbox"/> 返納は必要だと感じているが返納できない <input type="checkbox"/> 当分返納するつもりはない
⑧自家用車保有状況	<input type="checkbox"/> 自分が自由に使える車がある <input type="checkbox"/> 家族と共用する車がある(自分も運転できる) <input type="checkbox"/> 家族が送迎してくれる車がある <input type="checkbox"/> 世帯に車は無い

問2 日常生活において以下の公共交通はどのくらいの頻度で利用しますか。(①~⑤で1つずつ)

①路線バス	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
②にこここバス	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
③船・フェリー	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
④タクシー	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
⑤JR予讃線	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない

問3 通勤・通学に関する次の項目について、具体的にご記入ください。

※通勤・通学されていない方は**問4**へお進みください。

通勤通学先の所在地	()市・町() ※字名または〇丁目までご記入ください。【例】八幡浜市北浜一丁目
勤務・授業日数	月に約()日 その内、在宅で勤務する・授業を受ける日数()日
交通手段 複数の交通手段を 乗り継ぐ場合は 全てに✓	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動二輪・原付 <input type="checkbox"/> 車(自分で運転) <input type="checkbox"/> シニアカー <input type="checkbox"/> 車(家族や知人による送迎) <input type="checkbox"/> 通勤通学先の送迎 <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> にこここバス <input type="checkbox"/> 船・フェリー <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> JR予讃線 <input type="checkbox"/> その他()

③

問4 普段よく行く買い物先や通院先、その他外出先（趣味、娯楽、地域での活動等）の行き先と1か月の訪問回数、交通手段をお答えください。

買い物		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	店名又は所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □にこにこバス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)
次によく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	店名又は所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □にこにこバス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)

通院		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □にこにこバス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)
次によく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □にこにこバス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)

その他		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □にこにこバス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)

③

問 5 以下の交通手段で、最も重要だと思ふ改善点をお答えください。また、それぞれの交通手段でお答えいただいたように改善されれば、今より利用しようと思ひますか。
(改善点、利用意向それぞれ1つずつ)

①路線バス	
改善点	<input type="checkbox"/> 運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする <input type="checkbox"/> バス停名称を整理する <input type="checkbox"/> 乗り方をわかりやすくする <input type="checkbox"/> 他の公共交通との接続を良くする <input type="checkbox"/> 段差などを無くしバリアフリーにする <input type="checkbox"/> バス停に駐輪場や駐車場を整備する <input type="checkbox"/> バス停に屋根や椅子、トイレを設置する <input type="checkbox"/> バス停以外でも乗降できるようにする <input type="checkbox"/> 便数を増やす <input type="checkbox"/> 金銭的負担を軽くする <input type="checkbox"/> 困っていることはない <input type="checkbox"/> その他 ()
改善後の利用意向	<input type="checkbox"/> 今より利用しようと思ふ <input type="checkbox"/> 今と変わらず利用すると思ふ <input type="checkbox"/> 改善されても利用しないと思ふ
②にこにこバス	
改善点	<input type="checkbox"/> 運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする <input type="checkbox"/> 乗り方をわかりやすくする <input type="checkbox"/> 他の公共交通との接続を良くする <input type="checkbox"/> 段差などを無くしバリアフリーにする <input type="checkbox"/> のりばに駐輪場や駐車場を整備する <input type="checkbox"/> のりばに屋根や椅子、トイレを設置する <input type="checkbox"/> 家の近くで乗降できるようにする <input type="checkbox"/> 便数を増やす <input type="checkbox"/> 金銭的負担を軽くする <input type="checkbox"/> 困っていることはない <input type="checkbox"/> その他 ()
改善後の利用意向	<input type="checkbox"/> 今より利用しようと思ふ <input type="checkbox"/> 今と変わらず利用すると思ふ <input type="checkbox"/> 改善されても利用しないと思ふ
③船・フェリー	
改善点	<input type="checkbox"/> 運航時刻や運航経路の案内をわかりやすくする <input type="checkbox"/> 乗り方をわかりやすくする <input type="checkbox"/> 他の公共交通との接続を良くする <input type="checkbox"/> 段差などを無くしバリアフリーにする <input type="checkbox"/> 港に駐輪場や駐車場を整備する <input type="checkbox"/> 港に屋根や椅子、トイレを設置する <input type="checkbox"/> 港とバス停を近くする <input type="checkbox"/> 便数を増やす <input type="checkbox"/> 金銭的負担を軽くする <input type="checkbox"/> 困っていることはない <input type="checkbox"/> その他 ()
改善後の利用意向	<input type="checkbox"/> 今より利用しようと思ふ <input type="checkbox"/> 今と変わらず利用すると思ふ <input type="checkbox"/> 改善されても利用しないと思ふ
④タクシー	
改善点	<input type="checkbox"/> 予約を断られないようにする <input type="checkbox"/> 予約を簡単にできるようにする <input type="checkbox"/> 配車アプリを使えるようにする <input type="checkbox"/> キャッシュレス決済を導入する <input type="checkbox"/> 車両を新しくする <input type="checkbox"/> 早朝・夜間に営業する <input type="checkbox"/> 金銭的負担を軽くする <input type="checkbox"/> 困っていることはない <input type="checkbox"/> その他 ()
改善後の利用意向	<input type="checkbox"/> 今より利用しようと思ふ <input type="checkbox"/> 今と変わらず利用すると思ふ <input type="checkbox"/> 改善されても利用しないと思ふ
⑤JR 予讃線	
改善点	<input type="checkbox"/> 運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする <input type="checkbox"/> 乗り方をわかりやすくする <input type="checkbox"/> 他の公共交通との接続を良くする <input type="checkbox"/> 段差などを無くしバリアフリーにする <input type="checkbox"/> 駅に駐輪場や駐車場を整備する <input type="checkbox"/> 駅に屋根や椅子、トイレを設置する <input type="checkbox"/> 駅とバス停を近くする <input type="checkbox"/> 便数を増やす <input type="checkbox"/> 金銭的負担を軽くする <input type="checkbox"/> 困っていることはない <input type="checkbox"/> その他 ()
改善後の利用意向	<input type="checkbox"/> 今より利用しようと思ふ <input type="checkbox"/> 今と変わらず利用すると思ふ <input type="checkbox"/> 改善されても利用しないと思ふ

→次ページに続く

③

問 6 現在利用している移動手段での外出について、該当するものをお答えください。(1つに✓)

- ¹自由に外出できており、今後（免許返納後など）も不安はない
- ²現在は自由に外出できているが、今後（免許返納後など）が不安である
- ³生活に支障は無いが、外出を我慢することがある
- ⁴買い物や通院を我慢しており、生活に支障が出ている

問 7 その他外出や移動に際して困っていることがあればお答えください。

問 8 次の文章をお読み頂き、以下の問いにお答えください。

公共交通は、高齢者や児童・生徒、免許を持たない方々の交通手段だけでなく、普段、車を使っても突発的な事態やケガ等で自動車を運転できない場合の代替手段にもなります。八幡浜市では公共交通の維持のために年間約5千万円(市民1人あたり約1,600円)を支出しています。

八幡浜市の公共交通を維持するために税金を支出することについて、お考えをお聞かせください。(1つに✓)

- ¹今より財政支出を増やしてサービスをより充実させるべき
- ²現状並みの財政支出で、改善を加えながらサービスを維持するべき
- ³サービスが低下しても、公共交通に対する財政支出を減らすべき

問 9 八幡浜市の公共交通についてご意見やご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

ご回答いただきありがとうございました

アンケート調査票（④診療バス地区）

WEBでもご回答いただけます→



八幡浜市民のお出かけに関するアンケート調査票

問1 ご自身のことについてお伺いします。

①郵便番号	〒 - ※ご不明な場合は地区名をご記入ください→ () 例:真網代
②性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性 <input type="checkbox"/> その他・答えたくない
③年齢	<input type="checkbox"/> 15~29歳 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代 <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代 <input type="checkbox"/> 80歳以上
④職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員・公務員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 農林水産業 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 主婦・主夫 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 ()
⑤世帯人数	自分を含めて()人 ※同じ住居に住んでいる人数をお答えください。
⑥免許保有状況	<input type="checkbox"/> 自動車運転免許あり <input type="checkbox"/> バイク・原付運転免許のみあり <input type="checkbox"/> 運転免許を返納し、現在は持っていない <input type="checkbox"/> もともと持っていない
⑦免許返納意向	<input type="checkbox"/> すでに返納した <input type="checkbox"/> 2~3年以内に返納しようと思っている <input type="checkbox"/> 5年以内に返納しようと思っている <input type="checkbox"/> 返納は必要だと感じているが返納できない <input type="checkbox"/> 当分返納するつもりはない
⑧自家用車保有状況	<input type="checkbox"/> 自分が自由に使える車がある <input type="checkbox"/> 家族と共用する車がある(自分も運転できる) <input type="checkbox"/> 家族が送迎してくれる車がある <input type="checkbox"/> 世帯に車は無い

問2 日常生活において以下の公共交通はどのくらいの頻度で利用しますか。(①~⑤で1つずつ)

①路線バス	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
②診療バス	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
③船・フェリー	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
④タクシー	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない
⑤JR予讃線	<input type="checkbox"/> 週4日以上 <input type="checkbox"/> 週2~3日程度 <input type="checkbox"/> 月2~4日程度 <input type="checkbox"/> 年数日程度 <input type="checkbox"/> 全く利用しない

問3 通勤・通学に関する次の項目について、具体的にご記入ください。

※通勤・通学されていない方は問4へお進みください。

通勤通学先の所在地	()市・町() ※字名または〇丁目までご記入ください。【例】八幡浜市北浜一丁目
勤務・授業日数	月に約()日 その内、在宅で勤務する・授業を受ける日数()日
交通手段 複数の交通手段を 乗り継ぐ場合は 全てに✓	<input type="checkbox"/> 徒歩 <input type="checkbox"/> 自転車 <input type="checkbox"/> 自動二輪・原付 <input type="checkbox"/> 車(自分で運転) <input type="checkbox"/> シニアカー <input type="checkbox"/> 車(家族や知人による送迎) <input type="checkbox"/> 通勤通学先の送迎 <input type="checkbox"/> 路線バス <input type="checkbox"/> 診療バス <input type="checkbox"/> 船・フェリー <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> JR予讃線 <input type="checkbox"/> その他()

④

問4 普段よく行く買い物先や通院先、その他外出先（趣味、娯楽、地域での活動等）の行き先と1か月の訪問回数、交通手段をお答えください。

買い物		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	店名又は所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □診療バス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)
次によく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	店名又は所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □診療バス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)
通院		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □診療バス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)
次によく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □診療バス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)
その他		
最もよく行く施設	施設名	1か月の訪問回数
	所在地	() 回
	交通手段 複数の交通手段を乗り継ぐ場合は全てに✓	¹ □徒歩 ² □自転車 ³ □自動二輪・原付 ⁴ □車（自分で運転） ⁵ □シニアカー ⁶ □車（家族や知人による送迎） ⁷ □通勤通学先の送迎 ⁸ □路線バス ⁹ □診療バス ¹⁰ □船・フェリー ¹¹ □タクシー ¹² □JR 予讃線 ¹³ □その他（)

④

問 5 以下の交通手段で、最も重要だと思ふ改善点をお答えください。また、それぞれの交通手段でお答えいただいたように改善されれば、今より利用しようと思ひますか。
(改善点、利用意向それぞれ1つずつ)

①路線バス	
改善点	¹ □運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする ² □バス停名称を整理する ³ □乗り方をわかりやすくする ⁴ □他の公共交通との接続を良くする ⁵ □段差などを無くしバリアフリーにする ⁶ □バス停に駐輪場や駐車場を整備する ⁷ □バス停に屋根や椅子、トイレを設置する ⁸ □バス停以外でも乗降できるようにする ⁹ □便数を増やす ¹⁰ □金銭的負担を軽くする ¹¹ □困っていることはない ¹² □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思ふ ² □今と変わらず利用すると思ふ ³ □改善されても利用しないと思ふ
②診療バス	
改善点	¹ □運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする ² □乗り方をわかりやすくする ³ □他の公共交通との接続を良くする ⁴ □段差などを無くしバリアフリーにする ⁵ □のりばに駐輪場や駐車場を整備する ⁶ □のりばに屋根や椅子、トイレを設置する ⁷ □家の近くで乗降できるようにする ⁸ □便数を増やす ⁹ □金銭的負担を軽くする ¹⁰ □困っていることはない ¹¹ □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思ふ ² □今と変わらず利用すると思ふ ³ □改善されても利用しないと思ふ
③船・フェリー	
改善点	¹ □運航時刻や運航経路の案内をわかりやすくする ² □乗り方をわかりやすくする ³ □他の公共交通との接続を良くする ⁴ □段差などを無くしバリアフリーにする ⁵ □港に駐輪場や駐車場を整備する ⁶ □港に屋根や椅子、トイレを設置する ⁷ □港とバス停を近くする ⁸ □便数を増やす ⁹ □金銭的負担を軽くする ¹⁰ □困っていることはない ¹¹ □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思ふ ² □今と変わらず利用すると思ふ ³ □改善されても利用しないと思ふ
④タクシー	
改善点	¹ □予約を断られないようにする ² □予約を簡単にできるようにする ³ □配車アプリを使えるようにする ⁴ □キャッシュレス決済を導入する ⁵ □車両を新しくする ⁶ □早朝・夜間に営業する ⁷ □金銭的負担を軽くする ⁸ □困っていることはない ⁹ □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思ふ ² □今と変わらず利用すると思ふ ³ □改善されても利用しないと思ふ
⑤JR 予讃線	
改善点	¹ □運行時刻や運行経路の案内をわかりやすくする ² □乗り方をわかりやすくする ³ □他の公共交通との接続を良くする ⁴ □段差などを無くしバリアフリーにする ⁵ □駅に駐輪場や駐車場を整備する ⁶ □駅に屋根や椅子、トイレを設置する ⁷ □駅とバス停を近くする ⁸ □便数を増やす ⁹ □金銭的負担を軽くする ¹⁰ □困っていることはない ¹¹ □その他()
改善後の利用意向	¹ □今より利用しようと思ふ ² □今と変わらず利用すると思ふ ³ □改善されても利用しないと思ふ

→次ページに続く

④

問6 現在利用している移動手段での外出について、該当するものをお答えください。(1つに✓)

- 自由に外出できており、今後（免許返納後など）も不安はない
- 現在は自由に外出できているが、今後（免許返納後など）が不安である
- 生活に支障は無いが、外出を我慢することがある
- 買い物や通院を我慢しており、生活に支障が出ている

問7 その他外出や移動に際して困っていることがあればお答えください。

問8 次の文章をお読み頂き、以下の問いにお答えください。

公共交通は、高齢者や児童・生徒、免許を持たない方々の交通手段だけでなく、普段、車を使っても突発的な事態やケガ等で自動車を運転できない場合の代替手段にもなります。八幡浜市では公共交通の維持のために年間約5千万円(市民1人あたり約1,600円)を支出しています。

八幡浜市の公共交通を維持するために税金を支出することについて、お考えをお聞かせください。(1つに✓)

- 今より財政支出を増やしてサービスをより充実させるべき
- 現状並みの財政支出で、改善を加えながらサービスを維持するべき
- サービスが低下しても、公共交通に対する財政支出を減らすべき

問9 八幡浜市の公共交通についてご意見やご要望などがありましたらご自由にご記入ください。

ご回答いただきありがとうございました

第2章 地域意見交換会

2-1 実施概要

表2 地域意見交換会の実施概要

実施目的	地域住民と対面で意見交換し、アンケート調査では把握しきれない細かな移動ニーズ、問題点・課題等を把握する。
実施対象	八幡浜市内で特に移動が不便な3地区（川之内地区・宮内地区・磯津地区）※バス停、駅等からの距離によって算出した公共交通空白地の割合が高かった上位3地区

2-2 実施結果

川之内地区（参加者14人）

- ・バスは停留所近辺の方は利用しているが、バス停から離れている地区の方はタクシー利用が多い。市立病院まで片道3千円かかり、タクシーの金銭的負担が多いと感じる。
- ・学生が減っているため、バスも減便し、利便性が低下している。バス停まで頑張って歩いている人もいるが、健康であることが前提条件。
- ・免許返納のチケットは1度だけなので不足している。
- ・タクシー券は市街地と周辺部で金額が一緒なのですぐ使い切る。距離に応じた金額設定に見直してもらいたい。
- ・膝が悪くなり、家族のすすめで今年免許を返納したらとても不便になった。夫が免許を持っており、夫に合わせる生活になった。スーパーに行く機会が減り、病院を我慢することもある。夫の運転にも不安を感じているが、自家用車が無ければ生活できない。
- ・自家用車がある人は、大洲方面へ買い物に行く人が多い（便利・駐車場が広い・安い）
- ・移動販売はフジとコープの2社が来ており、比較的充実している。独居の方はよく利用しているが、時間に遅れると買えないこともある。衣類は無いので、移動販売のみでは不便なこともある。※千丈地区は地域内で移動販売のルートを決めている。
- ・ネットショッピングは若者だけで高齢者の利用は少ない。
- ・地区内では、月に1~2回ほど通院している人が多い印象。生活が不便で転出するという話はあまり聞かないが、若い世代は市街地に移っている。
- ・独居の方は、タクシーか市内在住の家族の送迎で移動している。家族が忙しいと遠慮

してしまう。

- ・地域内に拠点となるスーパーやコンビニエンスストアがあれば便利。
- ・週に1回以上は、巡回バスや乗り合いタクシーのような公共交通を導入してもらいたい（特に、上郷・南裏・田浪・古藪、梨尾、末広、影浦）。予約なしで地域内を巡回し、市立病院までのルートを自由に乗り降りできるようにして欲しい。金額は1回500円程度が理想。川之内は地区が分散している地域なので、地区ごとのルート設定が必要になる。
- ・移動手段は地域で担いたいという気持ちはあるが、担い手となる世代が手薄。90代の親を70代の子が送迎している事例も。善意で乗り合いの声掛けをしたいと思う時もあるが、事故が怖くて誘うことはできない。狭くて崖と隣り合わせの道路が多く、事故のリスクが高い。
- ・地域内で乗り合わせる場合、通院場所が異なるので時間の調整が難しい。
- ・数年以内に免許を返納し、自家用車の利用ができなくなる世帯が、急激に増加する見込み。（梨尾、上郷、末広、影浦）
- ・元気に地域で暮らしたいが、数年後に免許を返納すれば、地域に住めなくなる。循環バスや乗り合いタクシーの導入を切に希望している。

宮内地区（参加者 11 人）

- ・バス路線の沿線以外の住民は、移動に困っている。年金生活ではタクシーも頻繁には使えない。
- ・自家用車や家族の送迎がある方は、現在の移動に不満は無いものの、数年後に迫る免許返納後の生活に不安を覚えている。
- ・自家用車も家族の送迎も無い方は、現在も外出を我慢しており、徒歩でいける範囲が生活圈となっている。徒歩生活は健康に良い側面がある一方で、最寄りのスーパーが徒歩30分ほどかかるため、悪天候時や荷物の多い買い物時には不便。月に公共交通にかけている費用は、2~3千円程度。
- ・バスは幹線のみで、周辺部の住民はタクシー以外に交通手段がない。また、タクシーも電話が繋がらない時が多く困っている。タクシー事業者の情報が住民に行き渡っておらず、公民館に問い合わせがよくある。古い電話帳を頼りにする住民が多い。公共交通MAPのようなツールをしっかりと広報してほしい。
- ・保内⇄八幡浜間のタクシー利用は、片道2千円ほどかかり負担が大きい。免許返納チケットも1回きりで、八幡浜駅まで1往復すれば使い切ってしまう。
- ・通院、買い物は保内で済ませている方も一定数いた。保内間での自由な移動にも、一定数需要はありそう。
- ・保内庁舎を拠点として、八幡浜方面まで乗継ぎといった手法は、1時間に1便のバスの不便さからも手間に感じてしまう。それならタクシーの方が良いと思ってしまう。ただし、現在バスが全く通っていない地域においては、一考の余地有り。

- ・免許返納すると不便なので、無理に運転を続けている方が周囲にいる。自分も運転していて、怖いと感じる時がある。
- ・とにかく「家の前まで来てもらえるサービス」が欲しい。
- ・スクールバスを活用して、子どもとの交流にもつなげてもらいたい。
- ・デマンド型の乗合タクシーや、にこにこ日土の取り組み、自動運転など、地域の中でも公共交通の他事例に関心のある方は一定数いる様子。

磯津地区（参加者 17 人）

- ・自家用車を持っていない方や、高齢者のほとんどが診療バスを利用している。
- ・利用頻度は、月1~2回の方もいれば、週2回の方もおり、ばらばら。買い物や通院で利用しており、買い物はバス停から近い木村チェーン保内店の利用が多い。日頃は保内方面で生活し、八幡浜方面へ通院等で出向く際にフジを利用することがある。
- ・日頃の買い物は、フジやAコープとくし丸の移動販売、コープの宅配サービスでも不便さはあまり感じない。お米などの重い荷物は、農協や石山商店（いそつタクシーの家族が経営）が配送してくれる。離れて住む家族に依頼したり、自分で運ぶ場合は一輪車を利用したりしている。
- ・診療バスの便数や停留所の位置は最低限の需要を満たしているが、帰りの増便や八幡浜駅方面（特に保内に無い眼科）まで路線を伸ばしてもらえると便利。八幡浜駅方面まで行きたい時は、バスを乗り継いでいる。
- ・診療バスの車両が大きくなって、細い道を経由してもらえなくなったという経緯を聞いたことがある。利用者は何とか停留所まで歩いて（30分かかるとも）おり、歩くことが当たり前になっているが、悪天候の日や体調が悪い時は負担になっている。転ばないように歩くので精いっぱい、荷物を運ぶのが大変。家の前まで来てもらえるのが理想的。
- ・診療バスの制度が無くなると生活が出来なくなるので、有料になっても続けてほしい。有料になるとすれば、1回500円程度が限界に感じる。有料化する場合、もう1便増やすなど利便性を高めてほしい。
- ・診療バスの運転手によって、運行時間がずれたりステップを出してもらえなかったりすることがある。
- ・診療バスに乗り過ごした時や、緊急時はいそつタクシーを利用することが多く、呼んだらすぐに来てくれるので助かっている。ただし、タクシーは1回3千円~5千円かかるので、年金生活では厳しい。タクシー代を節約するために、目的地より早めに降車することもある。
- ・診療バスがバリアフリーになれば便利だが、歩いて停留所まで歩くことが出来る人が多いのであまり気にしたことは無かった。高齢になると段差がしんどく感じることはある。
- ・服薬の都合や、専門医に受診する際には帰りの便が合わず、毎回タクシーを利用しな

ければならない人もいる。

- 保内庁舎前のバス停に屋根や休憩スペースを設けてもらいたい。
- 趣味での移動手段の確保が難しく、地区で松山へ遊びに行く行事も無くなり、外出の機会が減っている。
- 防災無線を聞いて保内のふれあい市やみかんの花マルシェに行きたいと思うが、土日は便が無いので参加できない。
- 地域内で声をかけて自家用車の乗合という話はほとんど無い。安全で都合が付きやすいタクシーを利用する。
- 【磯崎地区】伊予鉄南予バスの長浜線を使って、長浜方面へ行く機会もある。JRでの遠出の機会は少ないが、利用するとすれば長浜駅になる。
- 【広早地区】高齢者世帯が増加しており、外出の機会が減少している。民生委員の支援を受けて外出している。広早地区はAコープのとくし丸が撤退してしまい、更に不便。

第3章 地域おこし協力隊ヒアリング

3-1 実施概要

表3 地域おこし協力隊ヒアリングの実施概要

実施目的	日頃から各地域で地域で活動し、地域の実情をよく把握している地域おこし協力隊に対してヒアリングを実施し、アンケート調査では把握しきれない細かな移動ニーズ、問題点・課題等を把握する。
実施対象	地域おこし協力隊メンバー4人（観光担当、神山地区担当、高野地地区担当、磯津地区担当）

3-1 実施結果

観光担当

- ・路線バスのバス停が限られている。例えば八幡浜駅から保内の町並みを見に行こうと思うと最寄りバス停から遠い。
- ・観光の問い合わせで調べると、鉄道とバスの乗継ぎが微妙だったり、バス停からが遠いため、目的地まで結局タクシーでないと行けない場合が多く、公共交通で周遊する観光客にとってはかなり不便。

神山地区担当

- ・鉄道、バスの便数が少なく、運賃が高い。
- ・公民館のところの坂がきついので、「自宅から乗れる公共交通があれば」という声が多数ある。

高野地地区担当

- ・乗合タクシーの利用は特定の人ばかりで、他の人は家族の送迎でまちへ降りているという印象。ただ、自分たちで運転できる人たちの中には、運転できなくなったらここには住めないと話している人もいる。
- ・住民が多くないので、新たな公共交通が整備されたとしても需要がそこまであるか疑問。

磯津地区担当

- ・診療バスは申込みが必要で、気軽には乗れないと聞く。
- ・日土や宮内など、隣の地区でお葬式等があっても、「(移動手段が無く)行けないので電報だけで対応するしかない。」といった話を聞く。
- ・乗合交通があれば、集まる場所が少なくなる中で、バスの中がコミュニケーションの場となり、高齢者の生きがいにつながるのではないかと。

第4章 高校事務局アンケート調査

4-1 調査概要

表4 高校事務局アンケート調査の実施概要

調査目的	八幡浜市内の高校に通う高校生、及び八幡浜市内に居住し周辺の市町の高校に通う高校生の通学における移動実態やニーズ、公共交通の利用状況や改善意向等を把握する。
調査対象	八幡浜市及びその周辺市町の高校等 8校
調査期間	令和4年10月
調査方法	配布：Eメールによる調査票配布 回収：Eメールによる調査票回収

4-2 調査結果

4-2-1 通学実態

表5 各高校の生徒数と八幡浜市在住者の通学状況

学校所在地	学校名	生徒数	内、八幡浜市在住者
八幡浜市	八幡浜高等学校	539	326
	八幡浜工業高等学校	179	74
	川之石高等学校	267	202
伊方町	三崎高等学校	137	24
大洲市	帝京第五高等学校	249	19
	大洲高等学校	497	15
松山市	済美高等学校	1668	11
西予市	宇和特別支援学校	111	20

4-2-2 通学方法（八幡浜市内3校）

- 八幡浜市内の高等学校への通学方法は大半が自転車か JR 予讃線となっています。
- 八幡浜高等学校は保護者送迎の人数が他校と比べて多くなっています。

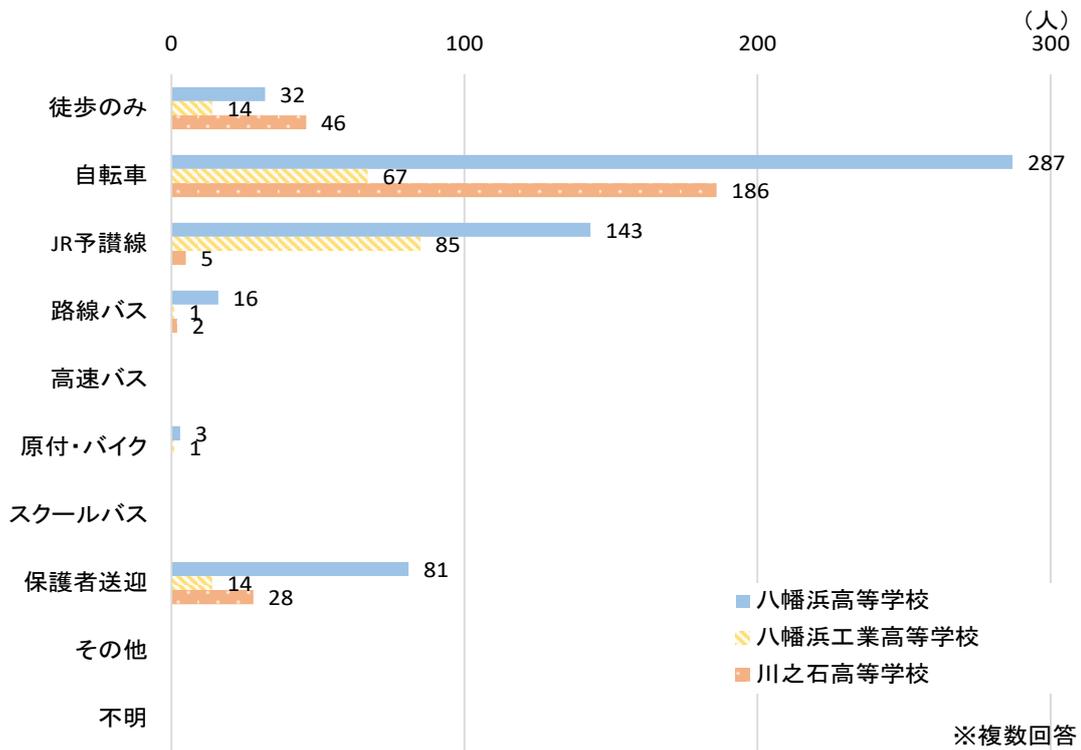


図 57 八幡浜市内3校の通学手段別人数

4-2-3 通学方法（八幡浜市外5校の合計値）

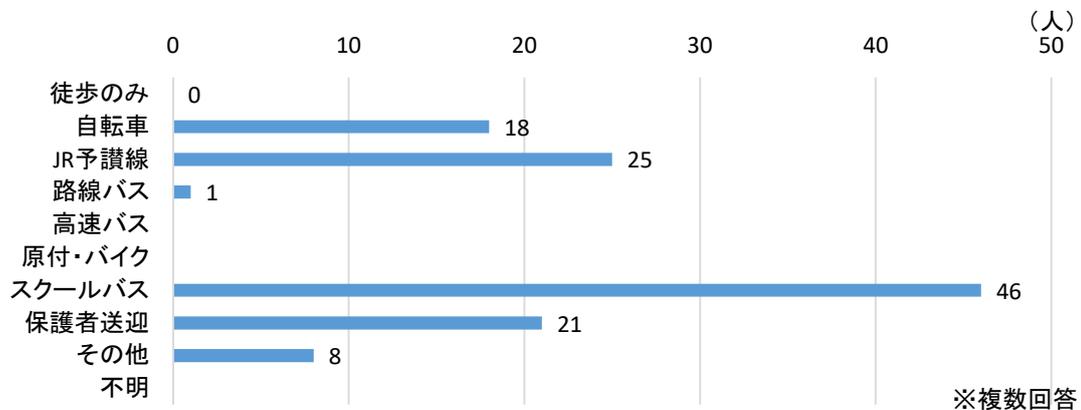


図 58 八幡浜市外5校の通学手段別人数

4-2-4 公共交通の利用促進に関連して独自に取り組んでいる事項（自由記述）

- 八幡浜駅と三崎高校間でスクールバスを運行している（伊方町からの補助により受益者負担なし）【三崎高校】
- 新入生登校日に、JR 四国の方に来校いただき、定期券を販売してもらうようにしている。また、伊予鉄道利用者についても同様であるが、四月に乗車マナーなどの指導をしている【済美高校】
- JR の定期券や回数券の費用について、就学奨励費を支給している【宇和特別支援学校】

4-2-5 課題・問題点（自由記述）

<スクールバスについて>

- 経路地の都合により、スクールバスの乗車時間が長い【三崎高校】

<JR 予讃線の利用について>

情報提供に関すること

- 運休の情報が分かりにくい【宇和特別支援学校・八幡浜高校】
- 遅延したときの情報が入らなくて困ることがある【宇和特別支援学校】

快適性に関すること

- 運休の情報が分かりにくい【宇和特別支援学校・八幡浜高校】
- 下校時に駅の待合室が満席になってしまう【八幡浜高校】
- 利用者が多い時間帯は車両数を増やしてほしい【八幡浜高校】

ダイヤに関すること

- 19 時便の後が 21 時になり 2 時間待ちとなる【八幡浜高校】
- 便が少なく、部活動をしている生徒が朝練に参加できなかつたり、放課後の部活動後、長時間待たされ帰宅時間が遅くなる【大洲高校】
- 八幡浜方面の便で、JR とバスどちらの運行もない時間帯がある【宇和特別支援学校】

<公共交通が利用されていないことにより生じている問題>

- 通学路上にある坂道で自転車が往来できる通路が片側通行しかできず、例年自転車同士の衝突事故が発生している【川之石高校】
- 保護者のマイカー送迎が多く、学校周辺で乗り降りするため近隣から苦情がある【八幡浜高校】

4-2-6 公共交通全般への自由意見（自由記述）

- 毎年、J Rのダイヤ改正は生徒の登下校に配慮していただいている。しかし、生徒数の減少やコロナ禍によるJ R利用者の減少に伴い、運行時間や列車の本数など厳しい状況が続いているのが現状である【八幡浜高校】

4-3 調査票

公共交通に関する高校事務局アンケート調査 調査票

八幡浜市内の高校用

--- 回答メ切：9月26日 ---

※記入枠は目安のため、回答量により適宜改変ください。(枠内に無理に収める必要はありません)

高校名			
ご回答者	所属・役職		氏名

問1 貴校の概要についてご回答ください。

①生徒数	人（うち、八幡浜市内在住： 人）			
②全日制の 登下校時刻 (主な時間帯)	登校	時	分	までに登校
	下校 (通常時)	時	分	ごろ下校
	下校 (部活動終了後)	時	分	ごろ下校
	下校 (テスト期間中)	時	分	ごろ下校
③定時制の 登下校時刻 (定時制のある 学校のみ)	登校	時	分	までに登校
	下校	時	分	ごろ下校
④土日祝日等 の部活動	1. 無 2. 有→ 午前の場合…開始 時 分ごろ～終了 時 分ごろ 午後の場合…開始 時 分ごろ～終了 時 分ごろ			
⑤コロナ禍で のオンライン 授業や休 校の方針	(自由記述)			
⑥スクールバ スの有無	1. 無 2. 有→ 運行本数・区間・時刻等を記入ください(資料添付でも可)			

問2 普段の通学手段別の人数をご記入ください。

自転車等の通学許可や通学定期券の申請状況、登下校の様子などから、分かる範囲でご記入をお願いします。

※徒歩のみで通学する生徒は①にカウントしてください。

※徒歩以外の移動手段がある生徒は②～⑧の中から該当するものにカウントしてください。

なお、複数の移動手段を乗り継ぐ生徒（例：自宅⇒<JR>⇒<路線バス>⇒学校）は、それぞれの移動手段にカウントしてください。

※天候や部活等の有無により複数の通学方法がある場合、より割合の多い移動手段でカウントして頂くとともに、その旨を備考欄へ記入ください。

移動手段	全生徒数（人）		うち八幡浜市内在住 生徒数（人）	
	全日制	定時制	全日制	定時制
①徒歩のみ				
②自転車				
③JR 予讃線				
④路線バス				
⑤高速バス				
⑥原付・バイク				
⑦スクールバス				
⑧保護者のマイカー送迎				
⑨その他				
⑩不明				

備考

問3 貴校への通学について、課題・問題点等があればご記入ください。

(保護者からの要望等も含む)

例：◎テスト期間中の下校に合う便がない ◎雨天時はバスの利用者が多く乗り切れないことがある
◎運休の情報がわかりにくい ◎保護者のマイカー送迎が多く、近隣から苦情がある ◎乗継の時間が合わず待ち時間が長い など

問4 公共交通の利用促進に関連して貴校が独自に取り組んでいる事項があればご記入ください。

例：◎バス等の通学定期代の一部を補助する制度がある ◎公共交通を授業で扱っている ◎公共交通での通学方法や乗り方などの資料を説明会で配っている ◎入学式の際にバスの定期券を学校で購入できるようにしている など

問5 公共交通全般についての自由意見

アンケートは以上です。ご協力いただき誠にありがとうございます。

公共交通に関する高校事務局アンケート調査 調査票

八幡浜市外の高校用

--- 回答メ切：10月17日 ---

※記入枠は目安のため、回答量により適宜改変ください。(枠内に無理に収める必要はありません)

高校名			
ご回答者	所属・役職		氏名

問1 貴校の概要についてご回答ください。

①生徒数	人（うち、八幡浜市内在住： 人）			
②全日制の 登下校時刻 (主な時間帯)	登校	時	分までに登校	
	下校 (通常時)	時	分ごろ下校	
	下校 (部活動終了後)	時	分ごろ下校	
	下校 (テスト期間中)	時	分ごろ下校	
③定時制の 登下校時刻 (定時制のある 学校のみ)	登校	時	分までに登校	
	下校	時	分ごろ下校	
④土日祝日等 の部活動	1. 無 2. 有→ 午前の場合…開始 時 分ごろ～終了 時 分ごろ 午後の場合…開始 時 分ごろ～終了 時 分ごろ			
⑤コロナ禍で のオンライン 授業や休 校の方針	(自由記述)			
⑥スクールバ スの有無	1. 無 2. 有→ 運行本数・区間・時刻等を記入ください(資料添付でも可)			

問2 【八幡浜市内在住の生徒のみ】普段の通学手段別の人数をご記入ください。

自転車等の通学許可や通学定期券の申請状況、登下校の様子などから、八幡浜市内在住の生徒についてのみ、分かる範囲でご記入をお願いします。

※徒歩のみで通学する生徒は①にカウントしてください。

※徒歩以外の移動手段がある生徒は②～⑧の中から該当するものにカウントしてください。

なお、複数の移動手段を乗り継ぐ生徒（例：自宅⇒<JR>⇒<路線バス>⇒学校）は、それぞれの移動手段にカウントしてください。

※天候や部活等の有無により複数の通学方法がある場合、より割合の多い移動手段でカウントして頂くとともに、その旨を備考欄へ記入ください。

移動手段	八幡浜市内在住 生徒数（人）	
	全日制	定時制
①徒歩のみ		
②自転車		
③JR 予讃線		
④路線バス		
⑤高速バス		
⑥原付・バイク		
⑦スクールバス		
⑧保護者のマイカー送迎		
⑨その他		
⑩不明		

備考

問3 貴校への通学について、課題・問題点等があればご記入ください。

(保護者からの要望等も含む)

例：◎テスト期間中の下校に合う便がない ◎雨天時はバスの利用者が多く乗り切れないことがある
◎運休の情報がわかりにくい ◎保護者のマイカー送迎が多く、近隣から苦情がある ◎乗継の時間が合わず待ち時間が長い など

問4 公共交通の利用促進に関して貴校が独自に取り組んでいる事項があればご記入ください。

例：◎バス等の通学定期代の一部を補助する制度がある ◎公共交通を授業で扱っている ◎公共交通での通学方法や乗り方などの資料を説明会で配っている ◎入学式の際にバスの定期券を学校で購入できるようにしている など

問5 公共交通全般についての自由意見

アンケートは以上です。ご協力いただき誠にありがとうございます。

第5章 関係者ヒアリング

5-1 実施概要

表6 関係者ヒアリングの実施概要

実施目的	公共交通のサービス提供側である交通事業者に対してヒアリングを実施し、アンケート調査では把握しきれない細かな移動ニーズ、問題点・課題等を把握する。 また、公共交通に関係する政策分野（都市・地域、福祉、教育、観光、広域（愛媛県））を所管する行政部局にヒアリングを実施し、公共交通に関係する現状や連携の可能性等を把握する。
実施対象	<交通事業者> 鉄道、路線バス、タクシー、自家用有償旅客運送、航路事業者（離島航路、広域連絡航路） <行政> 都市・地域分野（総務課・政策推進課・建設課）、福祉分野（社会福祉課・保健センター）、教育分野（学校教育課）、観光分野（商工観光課）、広域（愛媛県）

5-2 実施結果（交通事業者）

5-2-1 鉄道

- コロナ禍で定期外（ビジネス・インバウンド）の利用が回復していない
- 近隣自治体との連携や相互の交流人口拡大に向けた取り組みが出来ていない
- 伊予灘ものがたりの乗車率はコロナ禍でも90%以上を維持しており人気が高く、ぜひ活用してほしい
- 乗務員の離職率が高く、待遇改善等各種対策を行っている
- 八幡浜駅での他交通モードとの接続や案内のわかりやすさ及び待合環境の向上を行ってほしい
- 法定協議会の中で、交通事業者のみの分科会を用意していただければ事業者間の調整の議論が行いやすいかもしれない

5-2-2 路線バス

- 乗務員が不足しており、より収益性が高い貸切バスや夜行バスに人員が割けないため、収益力が低下している
- バス停名称の統一やセット企画などできる範囲で協力したいが、事業者同士で話す機会がないことや、経営上費用負担が難しいことがネックとなっている
- キャッシュレス決済やバスロケ、MaaSのような新技術の導入は、費用対効果の面から単独での導入は難しい
- 乗り方教室などの企画への協力は可能
- 八幡浜港～八幡浜駅間の需要はありそうだが、実際の利用者は少ない
- 伊予鉄南予バスの通学利用者が少ない（宇和島バスの沿線の通学は市が路線バスを活用している）

5-2-3 タクシー

- 午前中は通院目的の高齢者による利用が多く、夜は週末（金土）になると飲み会による利用が多い
- 昼～夕方の利用は比較的少ない
- コロナ禍では夜の利用が月6～7割減少した（時短営業を行っていた時期もある）が、現在は、コロナ前の利用の少ない日程度までには回復した
- コロナ禍でも高齢者による通院利用は常にあった
- 市の助成券利用については、全く利用しない人がいる反面、通院などで利用の多い人はすぐに無くなってしまう
- 行政関係や原発関係などの定期収入を得たり、独自に営業活動を行ったりと事業者ごとに工夫を凝らしているものの、行政の欠損補助も無く、コロナ等の影響を受けやすい
- 磯津地区は利用者が少なく、現時点でタクシー事業の後継者は未定
- 乗務員や事務員の安定した確保に苦慮しており、営業時間の短縮や予約のお断り、従業員の負担の増加に繋がっている
- 保内地区はタクシー事業者と稼働台数が限られており、保内地区内の移動の場合、利用者は八幡浜から迎車料を払ってタクシーを呼ばなければならない場合もある

5-2-4 自家用有償旅客運送

- 地区の人口減少に伴い利用者数も減少傾向にあるが、自家用車を運転できない高齢者の病院や買い物、小中学校のスクールバスが主な利用となっている

- 地区内で声を掛け合っているが、担い手確保に苦勞している
- スクールバスの受託が収入の柱であるが、少子化による減収が今後の課題となる

5-2-5 離島航路・広域連絡航路

<離島航路>

- 外部との接触を極力控えているため、コロナの影響による減収が非常に大きく、収束しない限り観光客向けの企画が難しい
- みなと付近にバス停もあるが、乗継利用者は少ない
- 船員・事務員ともに安定して人材を確保することが難しく、苦慮している

<九州～四国連絡航路>

- コロナ禍で一般旅客が減少しており、旅行会社や交通事業者と連携した企画商品や、行政とのPR活動によって観光活用を図りたい
- 三崎港からの国道九四フェリーに一般車利用が流れている
- 燃料・物価高騰による収支への影響や、人材確保も課題となっている

5-3 実施結果（行政）

5-3-1 都市・地域分野（総務課・政策推進課・建設課）

<高齢者運転免許自主返納支援事業について>

- 現行の内容で継続予定
- 助成券は配布数の70%程度利用されている
- 電話等で問い合わせがあった際に、「助成券の金額が少ない」という声はある

<その他>

- 立地適正化計画は5年毎に見直しを行うのでその際に地域公共交通計画の内容を反映しようと考えている
- 駅周辺は、公共交通の結節点として重要な拠点と捉えているが、都市再生整備計画に基づき駅前広場を整備しているため、今後の整備予定はない
- 以前のマスタープランでは交通拠点が「八幡浜駅」と「八幡浜港」となっていたが、平成25年に策定したマスタープランでは「八幡浜IC」と「八幡浜駅」と「八幡浜港」に変わった
- 将来的には八幡浜ICからの交通の流れを見据えるべきだと考えている
- 車が運転できる間はそれほど不便を感じないが、高齢等で運転できなくなった時に公共交通が弱い所では生活に支障が出て、都市部への移住(引越)が必要になるため、定住への支障となっている

5-3-2 福祉分野（社会福祉課・保健センター）

＜八幡浜市重度障害者（児）外出支援事業について＞

- 様々な交通機関が対象になっているが、タクシーの利用が多い印象である

＜高齢者外出支援事業について＞

- 75歳で後期高齢者になる際の通知郵便物の中で制度についての告知を行っている
- 以前は、タクシー利用時チケット1枚（550円分）の利用だったが、今は1回の利用の際に1回1000円まで利用ができるようになって「以前より使いやすくなった」という意見を聞く
- 一方で、必要金額分のチケットを用意するのが「ややこしい」という意見もある
- 中心部に住んでいる場合は一度に消費するチケット金額が少ないが、山間部に住んでいると一度に消費するチケット金額が大きく、不満を訴える方もいる

＜その他＞

- 生活保護受給者は、就労もしくは農業等で必要な場合以外自家用車を保有できないため、ほぼ自転車で移動している印象である
- 駅のバリアフリー化の要望はあるが、エレベーターの設置等は予算上の都合もあり実現できておらず現在は車いす利用者等がいる場合、駅員が補助を行っている
- 高齢者向けの乗り方教室は検討の余地はある
- 乗合タクシーについては、川之石地区は今までバスが走っていたので停留所からの乗車となっていることにあまり抵抗はないと思われるが、乗合タクシーになって予約が必要になったことが手間だと感じている方は多い

5-3-3 教育分野（学校教育課）

＜スクールバスの運行・利用状況、一般混乗化の可能性＞

- 中津川地区のスクールタクシーは対象がおらず、今年度は運行していない
- 日土地区と双岩地区のスクールバスはそれなりに利用が多く、11人乗り以上の車両で運行している
- 年度ごとに変動するが概ね時刻が固定している朝の登校便は検討の余地があるが、一方で、夕方の下校便時刻は部活や行事等で変更が多く臨時休校もあるので混乗化は難しい

＜公共交通で通学する児童生徒の状況＞

- 真穴地区および横平地区～八代中・神山小は宇和島自動車の路線バスで通学している
- 路線バスが走っている地域の児童は、極力路線バスを利用するように促している
- 通学定期券を市で購入し配布している

<学校教育における公共交通利用（校外学習での移動、公共交通乗り方教室など）>

- 校外学習で、電車・路線バスを使用することもある
- 主に小学校低学年（1、2年生）の生活科の授業等で公共交通（路線バス、鉄道等）を利用し、マナーや切符の買い方等を学習する
- 交通安全や高齢者をテーマにした学習は学校で実施しているので連携はできるかもしれない
- 中学生は忙しいが、地域の活性化をテーマにしながら地域課題を解決する授業もあり、そこで取り上げることができるかもしれない

<その他>

- 運行委託にあたり、2種免許を必須要件とはしていないが、運転士が不足している

5-3-4 観光分野（商工観光課）

- 食に関する観光が人気で、一番はみなつとでの農産物と海鮮、次いでB級グルメの八幡浜ちゃんぽんという傾向にある
- 大分県や臼杵市、愛媛の南予一帯での観光推進として、大分県側と愛媛県南予側の両方でQRコードによるスタンプラリー企画やE-BIKEのレンタルを行っている
- 外国語対応のフェリー時刻表の配布（R4.3月作成）を行っている
- 日土や川之石地区の観光スポットへ公共交通でアクセスしにくい
- 伊予鉄南予バスと宇和島バス共通の一日乗車券などがあれば、路線があるところの観光地は案内しやすくなると思う
- 利便性、フェリー・電車とのアクセスが不十分（しかし良くなりすぎると、通りすがりの町になってしまう）
- 自家用車での観光が圧倒的に多い
- 九州から来た方は港から駅まで歩く人が多く、バス利用は少ない
- バスに乗る方はみなつとのバス停からの利用が多い
- 年配の観光客はタクシー利用が多い
- 八幡浜市内でレンタカーを借りる方は少なく、松山からレンタカーで八幡浜に来る方が多い印象
- 伊予灘ものがたり号について、現時点で活用できていないのが課題で、関係者間での打合せの場があると良い
- インスタグラムで気になったスポットに行ってみたいという問い合わせが多い
- 八幡浜駅前の蒲鉾店では、事前予約制でかまぼこ作り体験をすることもできる
- みかん農家を巡る関西方面からのツアーはある
- 旅行会社のツアーは八幡浜と九州観光をセットにしたものが多い

5-3-5 広域（愛媛県）

- 令和元年5月29日に南予地域公共交通利便増進実施計画を策定し、令和元年10月から宇和島市エリア、令和2年4月から八幡浜市・伊方町エリア、八幡浜市・西予市エリア、令和2年9月から宇和島市・鬼北町・松野町エリアの再編を実施
- 令和4年4月から八幡浜港のフェリーターミナルが新しくなる関係で三崎線のバス停が追加となるため、令和4年2月に変更を行った
- 今後の展開としては、再編実施による成果（利用者や収入の変化）を検証し、期限である令和6年9月以降どうしていくかを検討していく予定
- 三崎特急線は地域間幹線と位置付けており、維持していく方針である
- 広域交通と地域間・地域内交通の乗り継ぎ環境向上のため、交通結節点の改善やパーク&ライドの充実をしていただきたい
- 「きずな博」に合わせて実施している「南予観光型 MaaS」のほか、日常利用型の「南予デジタル交通チケット YODO MaaS」やしまなみエリアでの観光利用を想定した「しまなみ MaaS」の取組を行っている
- 運転士募集の取組に関しては、平成28年度～R3年度まで、現地説明会（バスツアー）と人材獲得・採用に係る事業者向け実践研修会、冊子・動画作成の3本立てで実施し、冊子は6年間で3種類作成
- 令和4年度は中予の現地見学会（バスツアー）のみ実施した
- 前年度までの成果としては年間で1人程度の採用にしかつながらなかったため、今年度は規模を縮小し、対象を高校生・大学生から小・中学生とその保護者に変更して実施した
- 大分県との広域連携に関する取組については、平成29年度に都市間（松山～大分）移動を高速バスで直通化する「愛媛・大分バス&フェリー切符」、平成30年度に鉄道とフェリーの連携企画切符「豊予海峡横断きっぷ」を造成して愛媛・大分航路の利便性向上に取り組んだ
- 「豊予海峡横断きっぷ」については、令和元年度以降も事業者単体の取組として令和3年度末まで販売を行った

八幡浜市地域公共交通計画

(資料編)

令和5年3月策定

発行：八幡浜市
